

健康福祉学科教育課程

(令和6年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義演習実習の別	単位数		担当教員名 ()内は非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な科目										備考				
						1 学 年		2 学 年		介護職員初任者研修	社会福祉主事任用	ウオーキング トレジャー	介護福祉士受験	アクティビティ ワーカール	介護福祉士 スポーツ指導員	運動介護予防 リーダー	福祉作業 リーダー	マイカクテラ ケア	日商PC検定		介護福祉経営士	社会福祉士編入		
						前	後	前	後															
						期	期	期	期															
健康	健康福祉論	講	1		中島	1																	8回	
	運動と健康	講	1		小椋	1																	8回	
	健康スポーツ	演	1		小椋	2																		
	アクティビティ概論	講		2	小椋																			
	人間と社会	人間の尊厳と自立	講		2	吉牟田				2														
		現代社会と人間Ⅰ	講		1	担当教員		1																8回
		現代社会と人間Ⅱ	講		1	担当教員		1																8回
		コミュニケーション論	講	2		小平	2																	
		チームマネジメントの基礎	講		2	小平			2															
		人間と情報	講	2		春名	2																	
情報処理演習Ⅰ		演	1		吉牟田	2																		
情報処理演習Ⅱ		演	1		吉牟田			2																
ボランティア演習		演	1		関			2																
外国語	英語	演	1		山西(ホースリー)	2																		
	キャンパス&ホームステイプログラム	演		2	山田				2															
小 計			12	10		14	2	4	2	0	4	0	2											
専門福祉分野	介護福祉論Ⅰ	講	2		奥野	2																		
	介護福祉論Ⅱ	講	2		関			2																
	チームワークと多職種連携	講		2	井上					2														
	感染症予防とリスクマネジメント	講		2	(平田)						2													
	介護従事者の安全	講		2	(矢後)						2													
	介護予防論	講		2	小椋						2													
	コミュニケーション技術Ⅰ	演	1		関	2																		
	コミュニケーション技術Ⅱ	演	1		(定塚・山崎)	2																		
	生活支援技術Ⅰ	演	2		井上	4																		
	生活支援技術Ⅱ	演	1		奥野			2																
	生活支援技術Ⅲ	演		1	井上				2															
	生活支援技術Ⅳ	演		1	(大掛)					2														
	生活支援技術Ⅴ	演	1		奥野				2															
	生活支援技術Ⅵ	演		2	中島・(松島)						4													
	生活支援技術Ⅶ	演		1	(川端)						2													
	生活支援技術Ⅷ	演		1	奥野							2												
	介護過程Ⅰ	演	1		井上	2																		
	介護過程Ⅱ	演		1	井上					2														
	介護過程Ⅲ	演		2	奥野						4													
	介護過程Ⅳ	演		1	奥野							2												
	実習指導Ⅰ	演	1		井上・中島・関・小椋・奥野	2																		
	実習指導Ⅱ	演		1	井上・中島・関・小椋・奥野					2														
	実習指導Ⅲ	演		1	奥野・中島・関・小椋・井上						2													
実習指導Ⅳ	演		1	奥野・中島・関・小椋・井上							2													
基礎実習Ⅰ-1	実	1		井上・中島・関・小椋・奥野	*																			
基礎実習Ⅰ-2	実	1		井上・中島・関・小椋・奥野					*															
介護計画実習	実		3	井上・中島・関・小椋・奥野					*															
介護過程実習	実		3	奥野・中島・関・小椋・井上						*														
多職種連携実習	実		2	奥野・中島・関・小椋・井上							*													
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅠ	講	2		中島・(白井)	2																		
	こころとからだのしくみⅡ	講	2		(白井)	2																		
	こころとからだのしくみⅢ	講		2	(白井)				2															
	こころとからだのしくみⅣ	講		2	(白井)																			
	発達と老化の理解Ⅰ	講	2		中島・(堀)	2																		
	発達と老化の理解Ⅱ	講	2		(山本)				2															
	認知症ケア論Ⅰ	講	2		(四日)				2															
	認知症ケア論Ⅱ	講		2	井上・(松島)						2													
医療的ケア	障害者ケア論Ⅰ	講	2		中島	2																		
	障害者ケア論Ⅱ	講		2	中島					2														
医療的ケア	医療的ケアⅠ	講		4	中島・松居						4													
	医療的ケアⅡ	演		1	中島・松居							4												

区分	授業科目	講義演習実習の別	単位数		担当教員名 ()内は非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な科目											備考							
			必修	選択		1 学 年		2 学 年		介護福祉士受験 トレーナ	社会福祉主事任用 トレーナ	介護福祉士受験 アドバイザー	介護福祉士受験 アクトアドバイザー	介護福祉士受験 介護実習指導員	介護福祉士受験 介護実習指導員	介護福祉士受験 介護実習指導員	介護福祉士受験 介護実習指導員	介護福祉士受験 介護実習指導員	介護福祉士受験 介護実習指導員	介護福祉士受験 介護実習指導員		介護福祉士受験 介護実習指導員	介護福祉士受験 介護実習指導員	介護福祉士受験 介護実習指導員	介護福祉士受験 介護実習指導員			
						前期	後期	前期	後期																			
専門科目	人間と社会 ソーシャルワーク分野 ソーシャルワーク	社会 保 障 論	講	2	小 平	2								○														
		高 齢 者 福 祉 論	講	2	関				2						○													
		障 害 者 福 祉 論	講	2	関				2						○													
		児 童 家 庭 福 祉 論	講	2	明 柴				2						○													
		地 域 福 祉 論 I	講	2	関					2					○													
		地 域 福 祉 論 II	講	2	関					2					○													
		ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 - 1	講	2	(村 上)					2					○													科目履修
	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 - 2	講	2	(村 上)						2																		科目履修
	福祉ビジネス分野	福 祉 ビ ジ ネ ス	講	1	小 平						1															◎	※福祉ビジネス分野選択者は全て履修すること	8回
		介 護 事 務 概 論	講	1	小 平							1														◎		8回
		介 護 事 務 演 習	演	1	(松 島)								2													◎		8回
		医 療 事 務 概 論	講	1	小 平						1															◎		
		医 療 事 務 演 習	演	1	(小 野)							2														◎		
		介 護 福 祉 経 営 論	講	2	小 平								2													◎		
		富 山 型 福 祉 特 別 講 義	講	2	吉 牟 田								2													◎		
	キャリア支援 総合支援	富 山 型 福 祉 特 別 講 義 イ ン タ ー ニ ン シ ッ プ	講 演	1 1	小 平								1													◎		8回
		介 護 福 祉 総 合 演 習	演	1	吉 牟 田・専任全員																				○			
		キ ャ リ ア デ ザ イ ン 演 習	演	1	小 平		2																					
	総 合 支 援	総 合 的 研 究	演	2	吉 牟 田・専任全員			2		2																		
	小 計			36	62		26	0	12	15	8	27	0	30														
計			48	72		40	2	16	17	8	31	0	32															

◎必修科目 ○選択科目 (推奨)

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W111-10				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の生活支援や家族の相談援助などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護福祉論					
関連科目	障害者福祉論、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護職が活躍する介護サービスなどを俯瞰し、介護福祉士を取巻く状況と歴史を紐解き、介護福祉の基本となる尊厳と自立について学習します。介護福祉士の役割と専門性、職業倫理、安全の確保など専門職のあるべき姿を、テキストや資料を用いて説明します。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護職がかかわる多様なサービスを理解することができる。 2. 介護福祉士を取り巻く状況から介護問題の背景について説明できる。 3. 「尊厳を支える介護」や「自立に向けた介護」について、具現化できる。 4. 専門職としての役割や職業倫理など、理解することができる。 								
キーワード	介護の仕事の魅力、介護福祉士、介護サービス、尊厳の保持、多職種、自己の健康管理								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会編 新・介護福祉士養成講座3「介護の基本」中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会編 新・介護福祉士養成講座3「介護の基本」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	わが国の介護福祉の歴史や関連する法律、および社会福祉士及び介護福祉士法制定の背景や介護の定義、義務規定など、介護福祉士を取り巻く状況に関する知識を有する。また、尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理								
LO-2	介護従事者としての人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技能を有する								
LO-3	介護福祉の基本となる理念の理解と、介護福祉の専門性と倫理の理解を基盤にした思考力・判断力・表現力を備える。								
LO-4	介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援、多職種等への関心・意欲等を有する。								
LO-5	介護福祉士としての倫理に基づき、尊厳の保持や自立支援を尊重できる人間性・社会性を備える。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	60		10				100
LO-1		30							30
LO-2			20						20
LO-3					10				10
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	小テストの解答は、模擬解答を示し解説する。授業の中で、グループワークやディスカッションを実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	職務の理解 介護職の魅力と多様なサービスの理解	
	【予習】介護職のイメージを考えてくる。	90分
	【復習】介護保険サービスの種類についてまとめる	90分
第2回	職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解(1) 介護保険サービスなど	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2~31を読んでくる	90分
	【復習】本日授業で説明した介護サービスの内容をまとめる	90分
第3回	職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解(2) 介護保険サービスなど	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2~31を読んでくる	90分
	【復習】本日授業で説明した介護サービスの内容をまとめる	90分
第4回	職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解(3) 障がい者福祉サービスと地域における障がい者のスポーツ、余暇活動の取組みや推進状況などを理解	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2~31を読んでくる	90分
	【復習】本日授業で説明した障がい者福祉サービスの内容をまとめる	90分
第5回	介護福祉の基本となる理念 介護福祉を取り巻く状況	
	【予習】介護の基本 テキストP2~19を読んでくる。	90分
	【復習】介護福祉を取り巻く状況の変化について整理する。	90分
第6回	介護福祉の基本となる理念 介護福祉の歴史	
	【予習】介護の基本 テキストp21~51を読んでくる	90分
	【復習】本日の授業で解説した内容をまとめる。	90分
第7回	介護福祉の基本となる理念 介護福祉の歴史	
	【予習】これから起こりうる介護問題を考えてくる。	90分
	【復習】本日の授業で解説した内容をまとめる。	90分
第8回	人権と尊厳を支える介護 人権と尊厳の保持、ICF	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp44~67を読んでくる	90分
	【復習】尊厳の意味とその内容をまとめる。	90分
第9回	人権と尊厳を支える介護 QOL,ノーマライゼーション、虐待防止など	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp44~67を読んでくる	90分
	【復習】ノーマライゼーションの意味と内容をまとめる。	90分
第10回	自立に向けた介護 自立支援	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp68~75を読んでくる	90分
	【復習】自立支援のポイントをまとめる。	90分

第11回	自立に向けた介護 介護予防	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp76～79を読んでくる	90分
	【復習】介護予防の視点をまとめる。	90分
第12回	介護の基本 介護職の役割、専門性と多職種連携	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp84～101を読んでくる	90分
	【復習】介護の専門性と介護環境の特徴について理解を深める	90分
第13回	介護の基本 介護職の職業倫理	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp102～105を読んでくる	90分
	【復習】介護職が守るべき行動倫理をまとめる。	90分
第14回	介護の基本 介護における安全の確保とリスクマネジメント 安全の確保、リスクマネジメント	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp106～117を読んでくる	90分
	【復習】リスクマネジメントの必要性と起こりうる弊害をまとめる。	90分
第15回	介護の基本 介護従事者の安全 介護従事者を守る団体と法制度、環境の整備、心身の健康管理	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp118～129を読んでくる	90分
	【復習】1回目から15回目まで復習をする	90分

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W111-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論		後継科目	介護従事者の安全、介護予防論					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護の基本では、介護福祉の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理に基づき、その役割と機能である、介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援、介護実践における安全とリスクマネジメント、多職種連携、介護従事者の安全に関して、介護実践の基礎となる知識を理論的に学ぶ。								
学習目標	<p>1. 複雑化・多様化・高度化する介護ニーズ及び介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解できるようにする。</p> <p>2. 地域や施設・在宅の場や、介護予防や看取り、災害時等の場面や状況における、介護福祉士の役割と機能を理解できるようにする。</p>								
キーワード	生活を支えるしくみ、介護従事者の倫理、安全の確保、リスクマネジメント、個人の権利								
テキスト・ 参考書等	<p>最新 介護福祉士養成講座 3 「介護の基本」中央法規出版</p> <p>最新 介護福祉士養成講座 4 「介護の基本」中央法規出版</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援、介護実践における安全とリスクマネジメント、多職種連携、介護従事者の安全に関して、介護実践の基礎となる知識を理論的に理解できる。								
LO-2	学修の成果をレポートにまとめる力を有する。								
LO-3	尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解でき、それをもとに物事を考え、判断し、表現することができる。								
LO-4	新聞やTVなど報道を通して介護福祉を取巻く最新情報を自ら入手し、発表できるなど、授業への意欲や関心を有する。								
LO-5	複雑化・多様化・高度化する介護ニーズ及び介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			30						30
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			30			40
LO-5			10						10
備考	「その他」とは授業態度を意味します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第2節 フォーマルサービス 介護保険制度の目的・動向	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護サービスや地域連携等、フォーマルな支援を理解できたかふりかえる。	90分
第2回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第2節 フォーマルサービス 介護保険制度のしくみの基礎理解	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】フォーマルサービスについてまとめる。	90分
第3回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第2節 フォーマルサービス 介護保険制度の財源や組織、団体の機能と役割	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】【復習】介護保険を支えるしくみへの理解を深める。介護保険に係る組織・団体についてまとめる。	90分
第4回	「介護の基本」第4章 協働する多職種機能と役割 第3節、第4節 医療との連携とリハビリテーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】【復習】医療職の役割への理解を深める。多職種連携・協働について理解を深める。	90分
第5回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第2節 障害者支援のサービス 障害者福祉制度	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】障害者福祉サービスの活用について理解を深める。	90分
第6回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第2節 障害者総合支援法	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】障害者総合支援法の全体について理解を深める。	90分
第7回	「介護の基本」第1章 介護福祉の基本となる理念 第3節 介護福祉の基本理念 人権と尊厳を支える介護	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】個人の尊厳を守る制度について整理しておく。	90分
第8回	「介護の基本」第1章 介護を必要とする人の理解 第1節 私たちの生活の理解 生活の個性と多様性、	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】高齢者の生活について整理しておく。	90分
第9回	「介護の基本」第1章 介護を必要とする人の理解 第2節 介護福祉を必要とする人たちの暮らし 障害者の生活、家族介護者の理解と支援	
	【予習】テキストの街頭ページを読んでくる。	90分
	【復習】総会社の暮らしについて整理しておく。	90分
第10回	「介護の基本」第1章 介護を必要とする人の理解 第3節 その人らしさと生活ニーズの理解、第4節 生活のしづらさの理解と支援 生活ニーズへの支援	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】その人と家族介護者への支援を整理しておく。	90分

第11回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第3節 インフォーマルサービス	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護分野のインフォーマルサービスを整理しておく。	90分
第12回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第4節 地域連携	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】地域連携に関わる機関の役割について整理しておく。	90分
第13回	「介護の基本」第2章 介護福祉士の役割と機能 第1節 社会福祉士及び介護福祉士法、第2節 介護福祉士の活動の場と役割	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護人材の中核となるリーダーとしての役割、地域共生社会と介護福祉士の役割、介護予防と介護福祉士の役割、災害と介護福祉士の役割、人生の最終段階と介護福祉士の役割、医療的ケアと介護福祉士の役割を整理する。	90分
第14回	「介護の基本」第2章 介護福祉士の役割と機能 第3節 介護福祉士に求められる役割とその養成、第4節 介護福祉士を支える団体	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】地域や施設・在宅の場や、介護予防や看取り、災害時等の場面や状況における、介護福祉士の役割と機能を整理する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】該当箇所を読んで、興味関心時について深めてくる。	90分
	【復習】これまでの配布資料の内容を整理しておく。	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-20				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を生かして、介護福祉士として必要な知識と技術を指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	生活支援技術					
関連科目	こころとからだのしくみ .								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 介護職員初任者研修								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデルや実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜小テストを行い、技術や知識を確認していきます。								
学習目標	1.生活支援の目的・方針を理解する 2.介護の必要性や根拠を考え、理解することができる 3.「住環境の整備」「移動」「身じたく」「食事」「排泄」の意義・目的を理解し、自立に向けた基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	生活支援技術、移動・移乗、身じたく、食事、排泄								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術」中央法規出版 「介護職員初任者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他 A については、実技試験								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活支援の理解 介護の基本的な考え方 理論に基づく介護	
	【予習】テキスト目次を確認する。	90分
	【復習】配布されたプリントを確認する。心地よい環境について考える	90分
第2回	生活支援の理解 介護の基本的な考え方 理論に基づく介護 ICFの視点	
	【予習】生活について考える	90分
	【復習】ICFについて考えたことをまとめる	90分
第3回	介護の基本的な考え方 法的根拠にもとづく介護	
	【予習】テキストを確認する 初任者テキストP7～P9	90分
	【復習】テキスト、資料の復習しておく。	90分
第4回	自立に向けた家事の介護 生活と家事	
	【予習】初任者テキストP66～P91までを読む	90分
	【復習】生活にしづらさがある人が少しでも一人でできる方法を考える	90分
第5回	自立に向けた居住環境の整備 快適な居住環境整備と介護	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える	90分
第6回	自立に向けた身じたくの介護 身体状況に合わせた衣服の選択・着脱	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える	90分
第7回	自立に向けた身じたくの介護 身体状況に合わせた衣服の選択・着脱 整容	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】家事方法についてまとめる	90分
第8回	身じたく、整容行動（洗面、口腔ケア）	
	【予習】口腔ケア、洗面についてテキストで確認する	90分
	【復習】介護が必要な人が、みじたくを整えることについてどのような意義があるのかを考える	90分
第9回	休息・睡眠の介護	
	【予習】快適な睡眠について考える	90分
	【復習】ベッドメイキングの方法を確認する	90分
第10回	休息・睡眠の介護 ベッドメイキング	
	【予習】ベッドメイキングの方法を確認する	90分
	【復習】自宅で自分の寝床を快適なものにする ベッドメイキングを実施する	90分

第11回	衣服の着脱と介護 座位姿勢での着脱介護	
	【予習】麻痺のある利用者の着替えの原則とポイントをおさえ、練習しておく。	90分
	【復習】テキスト・プリントで復習し、まとめる	90分
第12回	洗面の意義・効果	
	【予習】介護が必要な人が、みじたくを整えることについてどのような意義があるのかを考える	90分
	【復習】テキスト・プリントで復習し、まとめる	90分
第13回	移動・移乗に関する基礎知識	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第14回	自立に向けた移動の介護 基本的な身体動作、ベッド上での寝返り動作等	
	【予習】こころとからだのしくみのテキストを用意し読む。(骨格・筋肉)	90分
	【復習】高齢者のからだの動きを復習しておく。	90分
第15回	自立に向けた移動の介護 起き上がり・立ち上がりから歩行動作介助を学びます。	
	【予習】前回の復習。	90分
	【復習】ベッド上の動作の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第16回	自立に向けた移動の介護 車いすへの移乗・移動動作介助を安全安楽に配慮して学びます。	
	【予習】車いすの名称確認。高齢者の自然な動きの確認。	90分
	【復習】移乗介助の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第17回	自立に向けた移動の介護 車いすへの移乗・移動動作介助を安全安楽に配慮して学びます。	
	【予習】車いすの名称確認。高齢者の自然な動きの確認。	90分
	【復習】移乗介助の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第18回	自立に向けた移動の介護 杖歩行の支援技術、外出支援方法について学びます。	
	【予習】障害者の移動について機器等を調べる。	90分
	【復習】移動介助をまとめ整理しておく。	90分
第19回	自立に向けた移動の介護 杖歩行の支援技術、外出支援方法について学びます。	
	【予習】障害者の移動について機器等を調べる。	90分
	【復習】移動介助をまとめ整理しておく。	90分
第20回	自立に向けた食事の介護 食事の意義・目的、食事介助の実際	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(口腔～消化器官)	90分
	【復習】食べるしくみと、おいしく食べることについて考える。	90分

第21回	自立に向けた食事の介護 座位姿勢での安全な食事介助、福祉用具の活用	
	【予習】介護食について調べる。	90分
	【復習】食事介助をまとめ整理しておく。	90分
第22回	自立に向けた食事の介護 食事の意義・目的、食事介助の実際	
	【予習】こことからだのしくみのテキスト用意し読む。(口腔～消化器官)	90分
	【復習】食べるしくみと、おいしく食べることについて考える。	90分
第23回	自立に向けた食事の介護 座位姿勢での安全な食事介助、福祉用具の活用	
	【予習】介護食について調べる。	90分
	【復習】食事介助をまとめ整理しておく。	90分
第24回	口腔ケア・誤嚥性肺炎の予防	
	【予習】安全に食事をするための工夫についてまとめておく	90分
	【復習】実技をととしての学びをまとめる	90分
第25回	排泄に関する基礎知識	
	【予習】こことからだのしくみのテキスト用意し読む。(尿・便)	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第26回	自立に向けた排泄の介護 排泄の意義・目的、排泄介護の実際・トイレ誘導	
	【予習】こことからだのしくみのテキスト用意し読む。(尿・便)	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第27回	課題事例による演習 前期末実技試験オリエンテーション	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第28回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第29回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第30回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-21				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の生活支援や家族の相談援助などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目	生活支援技術、生活支援技術					
関連科目	こころとからだのしくみ 実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 介護職員初任者研修								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデル実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜テストを行い、技術や知識を確認していきます。講義やグループワーク・演習をとおしてよりよい支援を考え実践できるように、学習していきます。								
学習目標	1.安全・安楽、プライバシーに配慮し、自立に向けた基本的な介助方法を習得する。2.介護の必要性や支援の根拠を考え、理解することができる。3.「身じたく」「清潔」「排泄」「睡眠」介護の意義・目的を理解し、自立を支援する基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	入浴、清拭、ポータブルトイレ、電法								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術」中央法規出版 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術」中央法規出版 「介護職員初任者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			50			100
LO-1			10			10			20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他 A については、実技試験								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	自立に向けた排泄の介護 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	
	【予習】配布プリントとテキストを確認する	90分
	【復習】振り返り、介護方法を身につけられるように練習をする	90分
第2回	自立に向けた排泄の介護 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	
	【予習】配布プリントとテキストを確認する	90分
	【復習】振り返り、介護方法を身につけられるように練習をする	90分
第3回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴・清潔保持に関連する基礎知識	
	【予習】テキストを確認しておく	90分
	【復習】介助方法についてまとめる	90分
第4回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴・清潔保持に関連する用具の活用方法	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】プリントをまとめる	90分
第5回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴を阻害する要因の理解と支援方法	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】プリントをまとめる	90分
第6回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 清拭・陰部洗浄	
	【予習】入浴の物品準備。入浴による身体の変化とリスクについて考える。	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第7回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 目・鼻腔・耳・爪の清潔	
	【予習】テキストを確認	90分
	【復習】観察の復習	90分
第8回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 足浴・手浴・洗髪	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第9回	人生の最終段階における介護 終末期に関する基礎知識	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第10回	総合生活支援技術演習 事例演習 排泄にこだわりがある人への支援	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分

第11回	総合生活支援技術演習 事例演習 排泄にこだわりがある人への支援	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第12回	総合生活支援技術演習 事例演習 外出希望の人への支援	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第13回	総合生活支援技術演習 事例演習 外出希望の人への支援	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第14回	総合生活支援技術演習 介護技術の総合評価	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】課題事例を練習する	90分
第15回	総合生活支援技術演習 介護技術の総合評価	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】課題事例を練習する	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-22				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を生かして、介護福祉士として必要な知識と技術を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目	生活支援技術					
関連科目	こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	環境整備、移動、排泄、食事、清潔、着脱の支援についての復習を行い、事例にもとづいて技術の確認を行う。								
学習目標	介護過程の展開を踏まえて、生活支援技術の基礎を再確認し、技術を評価することで生活支援技術の向上を図る。								
キーワード	自立支援 技術の向上 尊厳の保持								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術」中央法規出版 「介護職員初任者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識を習得している。								
LO-2	さまざまな生活場面において自立支援の観点から根拠に基づいた介護技術を実践できる。								
LO-3	ICFの視点を用いてアセスメントを行い、生活環境を含めた人物像を把握し、根拠に基づいた介護が実践できる思考力が身についている。								
LO-4	状況に合わせ計画的に技術および福祉用具を自ら調査し、選択・活用することができる。								
LO-5	各事例についてチームで考え、助言をし合うなど、協力しながら課題を実施することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			50			100
LO-1			10			10			20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他 A については、実技試験								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	居住環境の整備	
	【予習】安全に快適に暮らすための生活環境について復習する	90分
	【復習】居住環境の整備における多職種との連携について考える	90分
第2回	移動の介護 上方移動、水平移動、側臥位、ポジショニング	
	【予習】テキストP101～P116、P128～P135	90分
	【復習】スライディングシートの活用方法と安楽な体位と姿勢について復習する。	90分
第3回	移動の介護 上方移動、水平移動、側臥位	
	【予習】テキストP101～P116、P128～P135	90分
	【復習】スライディングシートの活用方法と安楽な体位と姿勢について復習する。	90分
第4回	排泄の介護 ベッド上での排泄	
	【予習】排泄の用具と使用方法について調べる	90分
	【復習】下痢をしている人への支援方法の留意点をまとめる	90分
第5回	排泄の介護 ベッド上での排泄	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】下痢をしている人への支援方法の留意点をまとめる	90分
第6回	排泄の介護 ベッド上での排泄 確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分
第7回	移動・口腔ケアの介護	
	【予習】ウォーカーケインを使用した移動方法、口腔ケアについて復習する	90分
	【復習】安定した立位への支援方法の留意点をまとめる	90分
第8回	移動・口腔ケアの介護	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】利き手交換をした口腔ケアの支援について復習をする	90分
第9回	食事・移動・口腔ケアの介護 確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分
第10回	食事の介護	
	【予習】食事の介護について復習する	90分
	【復習】食事時の姿勢、美味しく食べる食事の支援方法の留意点をまとめる	90分

第11回	食事の介護	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】利き手交換をした食事の支援、口腔ケアの支援について復習をする	90分
第12回	食事・移動・口腔ケアの介護 確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分
第13回	着脱の介護	
	【予習】着脱の介護について復習する	90分
	【復習】入浴前中後の状態観察の必要性についてまとめる	90分
第14回	着脱の介護	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】復習をする	90分
第15回	着脱の介護 確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-23				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	大掛 恵美子					
実務経験	管理栄養士として、病院および併設社会福祉施設において実務経験あり								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	医学一般、生活支援技術、こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者が生活の中で求めている幸せとは何かを的確に捉える力と、個性のある自立・自律や社会参加に向けた生活支援ができるようになることを目指す。自立に向けた家事の介助の技法、家事に参加することを支える介護を学習する。日本の食文化、摂食嚥下機能や疾病と食事の関係についても学習し、健やかな人生を送るための適正な食生活のあり方に関する知識を習得する。								
学習目標	栄養バランスのとれた食事、高齢者の嗜好に合った食べやすい食事、生活習慣病を予防できる食事等、命をつなぎ、QOLの向上に欠く事のできない食の重要性を認識し、臨機応変に対応できる介護実践力を養うこと。								
キーワード	健康 食生活 生活習慣病 介護食								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会：『最新 介護福祉士養成講座6 生活支援技術』第5章 自立に向けた家事の介護 (pp.227-263)、『最新 介護福祉士養成講座7 生活支援技術』第5章								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ特性について理解し、正しく答えることができる。								
LO-2	ニーズを踏まえ、個性に応じた安全でおいしい食事作りができる。								
LO-3	高齢者・障害者の食におけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	健康や食について関心を持ち、自分自身も適正な食生活に努めている。								
LO-5	グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10	20			20			100
LO-1	50	10							60
LO-2						10			10
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	実習あり。答案やレポートのフィードバック(解説など)をする その他：Aは授業時の積極性、質問や授業態度などを総合して評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業のねらい、食事の意義と目的、食事の介護における多職種連携について講義する。	
	【予習】自分の食生活について、献立を数日分書き出すなどして振り返り、食事をする意義・目的について考えてみる。 「生活支援技術」テキスト5章及び「生活支援技術」テキスト2章の家事(食事)の介護における多職種との連携について予習しておく。	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる。よく食べる商品の食品表示を確認する。	30分
第2回	身体の機能と3大栄養素の役割について講義する。	
	【予習】医学一般のテキストをもとに、身体の機能について復習を行い、要点を確認しておく。 「こころとからだのしくみ」のテキストをもとに栄養素の役割についてまとめておく。	15分
	【復習】自分の食生活について見直しを行い、講義から課題を見出し解決方法を考える。	30分
第3回	栄養素の役割 5大栄養素について講義する。	
	【予習】「こころとからだのしくみ」のテキストをもとに栄養素の役割についてまとめておく。	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第4回	基本の調理技術、食品の加工と保存について講義する。	
	【予習】我が家の食事ができるまでの流れを把握する。買い物に行ってみる。 「生活支援技術」テキストの5章：調理の介護について予習しておく。	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる。調理の基本技術の練習をしてみる。	30分
第5回	調理実習(1)基本調理法(炊飯、出しのとり方等) / 「日本料理」	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第6回	調理実習(1)基本調理法(炊飯、出しのとり方等) / 「日本料理」	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。調理作業の復習をする。	30分
第7回	栄養のバランスと献立作成について講義する。	
	【予習】「生活支援技術」テキストの5章：調理の介護について予習しておく。	15分
	【復習】高齢者に適した食事について献立検討する。	30分
第8回	食事と生活習慣病等の疾病との関係を理解する。	
	【予習】生活習慣病について、関連する病気を調べる。 「こころとからだのしくみ」のテキストをもとに身体機能と食事への影響について予習しておく。	15分
	【復習】生活習慣病を予防するための食事のポイントをまとめる。	30分
第9回	高齢者・障害者の食生活のあり方を理解する。	
	【予習】老化に伴う身体面や心理面からの機能低下の状態や、障害によって生じる食事摂取の不都合さについて把握する。 「生活支援技術」テキストの2章：自立した食事について予習しておく。	15分
	【復習】高齢者・障害者が安全においしく食べられる調理の手法をまとめる。 高齢者向けの簡単に作れる主菜について調べる。	30分
第10回	咀嚼・嚥下と食事について理解する。	
	【予習】摂食嚥下機能について調べる。 「生活支援技術」テキストの2章：自立に向けた食事の介助について、摂食嚥下機能について予習しておく。	15分
	【復習】高齢者・障害者が安全においしく食べられる食事と支援についてまとめる。	30分

第11回	調理実習(2)「介護食」 嚥下調整食を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。 食事介助における配慮・注意点を考えながら試食し課題を見つける。	30分
第12回	調理実習(2)「介護食」 嚥下調整食を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。 食事介助における配慮・注意点を食前・中・後にわけまとめる。	30分
第13回	調理実習(3)高齢者向けの食事を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第14回	調理実習(3)高齢者向けの食事を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第15回	調理実習(4)「自由献立」各自考えた高齢者のための食事を調理する。	
	【予習】レシピを事前に把握し、材料の準備、作業工程の確認・段取りを確認しておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。課題レポートを作成する。	30分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-24				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の生活支援や家族の相談援助などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術、介護福祉論		後継科目						
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護ロボット・ICTが求められる背景、介護ロボット・ICTの効果を学ぶとともに、学生が介護ロボット・ICT機器を調査や体験をととして理解を深める。また、介護ロボットを導入活用するための組織体制について学習する。								
学習目標	1.介護ロボット・ICTを活用できる基礎的能力を習得する。 2.介護ロボット・ICT活用の重要性を利用者・介護職員・組織の3つの視点から理解する。								
キーワード	介護ロボット・ICT、安全と倫理、組織								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座6 生活支援技術」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護ロボット・ICTの定義や意義を理解できる。								
LO-2	介護ロボット・ICTの使用方法を理解し、活用したケアができる。								
LO-3	対象者の心身の状況に応じた介護ロボット・ICTの活用や自身の調べた介護ロボット・ICTを分かりやすく表現することができる。								
LO-4	介護ロボット・ICTの積極的に見学・体験・調査することができる。								
LO-5	他者の考えや発言を聴き、自分の意見を丁寧に伝えることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	レポートは、コメントをつけて、学生に返却する。グループワークやプレゼンテーションを授業で実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護ロボット・ICTの基礎知識	
	【予習】介護現場が抱える介護問題を考える。	60分
	【復習】介護ロボットの定義、介護ロボットが導入される背景をまとめる。	60分
第2回	利用者に適した介護ロボット・ICTの活用	
	【予習】介護ロボットには、どのような機器があるのか調べる。	60分
	【復習】グループで調査した介護ロボット・ICTをまとめる。	60分
第3回	利用者に適した介護ロボット・ICTの活用	
	【予習】介護ロボットには、どのような機器があるのか調べる。	60分
	【復習】グループで調査した介護ロボット・ICTをまとめる。	60分
第4回	ICT機器の操作体験	
	【予習】介護現場で活用しているICTを調べる。	60分
	【復習】ICT活用の効果と課題についてまとめる。	60分
第5回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】移乗介助ロボット「HUG」について調べる。	60分
	【復習】演習「ベッドから車イスへの移乗」を振り返り、まとめる。	60分
第6回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】移乗介助ロボット「HUG」について調べる。	60分
	【復習】演習「ベッドから車イスへの移乗」を振り返り、まとめる。	60分
第7回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】とやま介護テクノロジー普及・推進センターの概要を調べる。	60分
	【復習】体験した介護ロボット・ICT機器をまとめる。	60分
第8回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】とやま介護テクノロジー普及・推進センターの概要を調べる。	60分
	【復習】体験した介護ロボット・ICT機器をまとめる。	60分
第9回	介護ロボット・ICT活用におけるリスクマネジメント	
	【予習】介護ロボット・ICT活用による介護事故を調べる。	60分
	【復習】介護ロボット・ICTの留意点をまとめる。	60分
第10回	介護ロボット・ICT活用における倫理	
	【予習】介護における倫理について復習する。	60分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用と倫理についてまとめる。	60分

第11回	介護現場での介護ロボット・ICT導入にむけた組織のあり方と課題	
	【予習】 実習先での介護ロボット・ICTの導入活用状況を振り返る。	60分
	【復習】 介護ロボット・ICTを活用した組織についてまとめる。	60分
第12回	介護現場での介護ロボット・ICT導入にむけた組織のあり方と課題	
	【予習】 実習先での介護ロボット・ICTの導入活用状況を振り返る。	60分
	【復習】 介護ロボット・ICTを活用した組織についてまとめる。	60分
第13回	介護ロボット・ICTの実践的活用	
	【予習】 見学に行く介護施設の概要をまとめる。	60分
	【復習】 介護ロボット・ICTを活用している介護施設の実際からの学びをまとめる。	60分
第14回	介護ロボット・ICTの実践的活用	
	【予習】 見学に行く介護施設の概要をまとめる。	60分
	【復習】 介護ロボット・ICTを活用している介護施設の実際からの学びをまとめる。	60分
第15回	まとめ	
	【予習】 これまでの授業のまとめを振り返る。	60分
	【復習】 「介護ロボット・ICTの効果と課題」、「介護ロボット・ICTを組織で活用するために」についてまとめる。	60分

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W111-30				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	基礎実習 - 1					
関連科目	コミュニケーション技術 (手話・点字)								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士指定科目								
授業の概要	人間関係とコミュニケーションで学ぶコミュニケーションの基礎的な知識を基盤に、本人及び家族とのよりよい関係性の構築や障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識・技術を習得する。介護におけるチームのコミュニケーションについて、情報共有の意義、活用、管理などに関する基本知識・技術を習得する。								
学習目標	対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション能力を養う学習とする。								
キーワード	チームのコミュニケーション、障害の特性に応じたコミュニケーション、家族とのコミュニケーション、介護を必要とする人とのコミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 5 コミュニケーション技術								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を理解している。								
LO-2	【技能】様々な場面に必要とされるコミュニケーション技術や、チームケアを構築するためのコミュニケーションの基礎的な技術を備えている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】コミュニケーション技術をとおり、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を備えている。								
LO-4	【関心・意欲・態度】介護実践に必要なコミュニケーション実践に関心と意欲を持ち、専門職としての態度を備えている。								
LO-5	【人間性・社会性】目的・意図的なコミュニケーションによって、信頼に基づく援助関係を築くことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			30						30
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			30			40
LO-5			10						10
備考	評価のその他は、授業態度に関わるものです。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1章 介護におけるコミュニケーションの基本 第1節 介護におけるコミュニケーションとは	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめてみる。	15分
第2回	第1章 介護におけるコミュニケーションの基本 第2節 介護におけるコミュニケーションの対象	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	15分
第3回	第1章 介護におけるコミュニケーションの基本 第3節 援助関係とコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第4回	第2章 コミュニケーション態度に関する基本技術 第1節 コミュニケーション態度に関する基本技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	60分
第5回	第2章 コミュニケーション態度に関する基本技術 第2節 言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	15分
第6回	第2章 コミュニケーション態度に関する基本技術 第3節 目的別のコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	60分
第7回	第2章 コミュニケーション態度に関する基本技術 第4節 集団におけるコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第8回	第3章 対象者の特性に応じたコミュニケーション 第1節 コミュニケーション障害への対応の基本	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第9回	第3章 対象者の特性に応じたコミュニケーション 第2節 さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第10回	第4章 家族とのコミュニケーション 第1節 家族との関係づくり、第2節 家族への助言・指導・調整	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分

第11回	第4章 家族とのコミュニケーション 第3節 家族関係と介護ストレスへの対応	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第12回	第5章 介護におけるチームのコミュニケーション 第1節 チームのコミュニケーションとは	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第13回	第5章 介護におけるチームのコミュニケーション 第2節 報告・連絡・相談の技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第14回	第5章 介護におけるチームのコミュニケーション 第3節 記録の技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第15回	第5章 介護におけるチームのコミュニケーション 第4節 会議・議事進行・説明の技術、第5節 事例検討に関する技術、第6節 情報の活用と管理のための技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W111-31				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護	担当教員名	定塚 剛成 山崎 清之 奥野 勝太						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	障害者ケア論 ・ 生活支援技術 介護実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	1. 聴覚及び言語障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。 2. 視覚障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。								
学習目標	1. 手話 ・基本的な手話技術の習得 ・障害のとらえ方の理解 ・聞こえないことの不便や聴覚障害者のおかれている社会環境、関連制度等の理解								
キーワード	1. 手話 聴覚障害者 点字 視覚障害者 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	1. 「新・手話教室 入門」 - 厚生労働省手話奉仕員養成講座入門課程対応 - 2. 「初めての点訳」 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解) 障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識を理解する。								
LO-2	(技能) 障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的技術が身につく。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力) その場そのとき、相手に応じて求められるコミュニケーションのあり方を考えられる。								
LO-4	(関心・意欲・態度) 手話や点字の習得に意欲と熱意を持ち、障害の理解にも関心を高めることができる。								
LO-5	(人間性・社会性) 手話や点字の技術習得を通して、障害者の暮らしに思いを馳せることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	1.手話 ・テキストをもとに、ほぼ毎回ビデオを使用して学習を進めます ・ネイティブスピーカー(ろう者)に、2回程度参加してもらいます ・必要に応じて、グループ等に分かれて進めます * 授業態度・意欲(25%程度)・節目ごとのレポート(30%程度)・修了試験(45%)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の概要、点字と墨字、点字の組み立て・特徴、 点字器の種類・扱い方	
	【予習】シラバス確認	45分
	【復習】点字の組み立てを振り返る	45分
第2回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 視覚障害者の状況 点字の歴史	
	【予習】次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】視覚障害者について、テキストノートから振り返る	45分
第3回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(1) ・点字を書く器具 点字を書く時のポイント	
	【予習】次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】本日学習した点字の書き方、読み方を振り返る	45分
第4回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(2) 点字の標記 ・語の書き表し方(かな使い、数字、アルファベット)	
	【予習】次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】点字の読み方を振り返る	45分
第5回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(3) ・分かち書 (文節分かち書、複合語、固有名詞)	
	【予習】次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】点字の表記について振り返る	45分
第6回	2. 点字	
	【予習】次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】点字の表記について振り返る	45分
第7回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	
	【予習】次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】点字の表記について振り返る 視覚障害者のガイドについてテキスト等で見直す	45分
第8回	2. 点字 まとめ 試験 (点訳 墨訳 作文と点字についての設問)	
	【予習】点字の組み立てから、点字の表記について復習しておく 視覚障害者と点字の歴史、概要をまとめておく	45分
	【復習】点字標記についての規則をもう一度振り返る。	45分
第9回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 聞こえないってどんなことが 言葉を使わなくて伝えてみよう	
	【予習】本科目のシラバスを確認する。	45分
	【復習】授業の振り返りをする。	45分
第10回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう教育	
	【予習】次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】授業の振り返りをする。	45分

第11回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 指文字を覚えよう	
	【予習】 次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】 授業の振り返りをする。	45分
第12回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうのひとと話そう	
	【予習】 次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】 授業の振り返りをする。	45分
第13回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう者の生活 家族を紹介しよう	
	【予習】 次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】 授業の振り返りをする。	45分
第14回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 趣味を表してみよう・誕生日を表してみよう	
	【予習】 次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】 授業の振り返りをする。	45分
第15回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうのひとと話をしてみよう	
	【予習】 次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】 授業の振り返りをする。	45分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-40				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の立場に近づき、利用者が求めている支援を提供する視点に立ち、生きてきた時間と生活からその人を理解していくことを目的に、広い視点から学習を進めていきます。介護過程という思考過程の基本を学習します。								
学習目標	人間は生きている環境が違い、考え方や生き方は様々であることを客観的に捉えることができる。個々のニーズとは何かを知り、「分析的思考」と「総合的思考」を養います。								
キーワード	生活 幸せ 情報収集 アセスメント ICF								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座9「介護過程」、「介護職員初認者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ICFの概要や考え方を理解することができる。								
LO-2	一人の人間の全体像を様々な視点から捉え、それに関連することを分析する能力を習得する。								
LO-3	これまでの生活から学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を十分身につけている。 円滑なコミュニケーションをとり、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20		20				100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	20		10						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の意義 介護過程とは プロセス	
	【予習】シラバスを読み、科目の内容や目的を抑える	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第2回	介護過程とチームアプローチ	
	【予習】初任者研修テキスト P321～P323まで読んでくる	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第3回	介護過程の意義 グループワーク 問題を解決していく過程が理解できる。(1) コンセンサスゲーム 課題を通してグループワークをおこなう。グループ発表	
	【予習】「コンセンサスゲーム」について調べる	60分
	【復習】グループで検討した意見をワークシートから振り返る。	120分
第4回	介護過程の意義 グループワーク 物事を多面的な視点でとらえる グループでカテゴリ分けを行い、根拠を明確にして発表する	
	【予習】ペットボトルの準備 「ペットボトル」について考える	90分
	【復習】テキスト、ノートから学習したことを振り返る	90分
第5回	介護過程の意義 相手の立場にたって物事を考える 事例1について考える。個人ワーク	
	【予習】相手の立場になって考えることとは、どのようなことか 具体的に考える	90分
	【復習】みかこさんの生き方と自分の生き方を比較し、生きることの支援について考えをまとめる	90分
第6回	介護過程の意義 事例1についてグループワークをおこない、考えられる様々な方法を話し合う。グループ発表をおこなう。	
	【予習】前回の事例1のワークシートを見ておく	90分
	【復習】他のグループで発表された意見をワークシートを見て振り返る。	90分
第7回	介護過程の基礎的理解(1) 介護過程の展開 課題解決型アプローチ	
	【予習】課題解決とは何かを考える	60分
	【復習】本時の資料と作成したワーク、グループでの話し合いをまとめる	120分
第8回	介護過程の基礎的理解(1) 介護過程の展開 課題解決型アプローチ 介護ロボットとICT	
	【予習】前回の自己のワークシートとグループでの話し合いの結果をまとめる	90分
	【復習】本時のノート、資料から振り返る。	90分
第9回	介護過程の基礎的理解(2) 課題解決型アプローチ キットカットを用いて 普段行っている動作が起こる理由を考え、客観的情報と経験から考察したことを文章化する。	
	【予習】自分が普段行っている「食べる」という活動についての根拠を考える。また、その活動の順序を細かく分析する。	60分
	【復習】本時のノート、資料から振り返る。	120分
第10回	介護過程の基礎的理解(2) 目標志向型アプローチ ICFとICIDHについて	
	【予習】「ICF」と「ICIDH」について調べる	60分
	【復習】ICFとICIDHの違いが分かる。また、ICFの構成要素について理解する。	120分

第11回	介護過程の展開 介護過程におけるニーズ ニーズを見つける視点について分かる。マズローの基本的欲求がわかる。	
	【予習】テキストP26～P43を読んでおく	60分
	【復習】本時のノート、テキスト範囲からニーズについて振り返る。	120分
第12回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(1) 介護過程の構成要素とアセスメントについて理解する。ICFの構成要素についてわかる	
	【予習】テキストP13～P14 59～61を読んでおく	90分
	【復習】アセスメントについてノート及びテキスト範囲から振り返る。	90分
第13回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(2) アセスメント情報収集について分かる。身近な人の事例課題2をICFの視点でワークシートに記述する(自己ワーク)	
	【予習】テキストP61～P62を読んでおく	90分
	【復習】本時の課題から事実を情報収集することを振り返る。	90分
第14回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(3) 身近な事例2について情報収集をICFの視点を用いたワークシートに記述したものをを用いて発表をし、他グループからの意見を聞く。	
	【予習】テキストP50をよく読む。	90分
	【復習】グループで情報収集した内容を見直してみる。	90分
第15回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(4) グループで集めた情報をアセスメントする。既定のシートにグループから出た情報を記述し、アセスメントを行う。グループ発表	
	【予習】グループで情報収集した内容をテキストP50を参考に見直し、発表の準備をしておく。	90分
	【復習】他のグループ発表を聞いて、情報収集について振り返る。	90分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-41				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	様々な利用者の生活場面とその環境から適切な支援ができるよう、習得した知識や経験を介護過程の展開に活用していきます。 介護計画実習での情報収集ができるよう事例をとおして記録用紙の書き方を学びます。 専門職として必要な知識・技術を身につけ、多職種との連携を理解します。								
学習目標	情報の収集、解釈・分析、アセスメントの意味を理解し、利用者個々のニーズを把握する能力を養います。 また、介護計画を立案するために必要な具体的な情報収集能力を身につけ、介護計画を立案する能力を養います。								
キーワード	情報収集 アセスメント ICF ニーズ 本人の思い								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座9介護過程 中央法規出版 2021年度「介護実習の手引き」 富山短期大学								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	情報収集の必要性を理解する能力を有する。情報収集の必要性と方法について十分理解をしている。								
LO-2	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力を十分に有する。								
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころとからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開（情報収集と計画立案）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			30						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 介護過程の構成要素を振り返る 各自が基礎実習で、かかわった利用者についてどのようなニーズがあったか考える ワークシートに記述する	
	【予習】介護過程の構成要素、ICFの視点を見ておく。	60分
	【復習】基礎実習で自分がかかわった利用者の情報について振り返る。	120分
第2回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 グループワーク 各自がかかわった利用者の状況、必要な情報は何か話し合いワークシートにまとめる。	
	【予習】学習範囲について、テキストを見直す。	60分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る。	120分
第3回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 グループでまとめ意見を発表する。	
	【予習】学習範囲をテキストを見て読んでおく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞いて振り返る。	120分
第4回	介護過程の展開 事例学習 1 - ICFの視点で必要な情報は何か考えワークシートに記述する。	
	【予習】前回と同じテキストのページを読み確認する。生活支援技術のテキストを読む	60分
	【復習】ワークシートの記述内容をテキストを見て振り返る。	120分
第5回	介護過程の展開 事例学習 1 - グループワーク グループで意見交換し、ICFの視点をまとめる	
	【予習】生活支援技術のテキストで必要なところを見て確認しておく	60分
	【復習】グループでまとめた意見を振り返っておく。	120分
第6回	介護過程の展開 事例学習 1 - グループ発表とまとめ	
	【予習】テキストの確認 生活支援技術のテキスト確認	60分
	【復習】他のグループの発表を聞いて振り返り、情報収集についてICFの視点をまとめておく。	120分
第7回	介護過程の実践的展開 事例学習 2 - グループワーク ICFの視点で意見交換する。	
	【予習】授業日までに、事例2の必要な情報収集をICFの視点のワークシートに記述しておく。	60分
	【復習】グループで意見交換した内容を振り返る。生活支援技術のテキストを読み確認しておく。	120分
第8回	介護過程の実践的展開 事例学習 2 について、グループのまとめを発表する	
	【予習】テキストを確認する。生活支援技術のテキスト確認する。発表する内容を確認しておく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞き振り返り、事例2における情報収集についてまとめておく。	120分
第9回	介護過程の実践的展開 事例学習 1・2のまとめ 実際の情報収集の場面を体験し、気付いたことを発表する。	
	【予習】事例1と2におけるICFの視点で、グループワークしたワークシートを見直す。	60分
	【復習】実際の情報収集の場面から気付いたことをまとめておく。	120分
第10回	介護過程の実践的展開 介護計画実習に向けて、実際に用いる記録用紙(D1-3)の記述方法と留意点について理解する。	
	【予習】本学の平成27年度実習の手引きP37-39を読んでおく。	60分
	【復習】説明を受けたことの留意点、記述方法について手引きP51-53を読み振り返る。	120分

第11回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例について説明後、実習記録D1～3に記述する。	
	【予習】手引きP37～39、51～53を確認しておく。	60分
	【復習】手引きP37～39を参照しながら見直し、Mさんの事例D1～3を完成させておく	120分
第12回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例 情報収集したD1～3の内容について気がついたこと、迷ったところなどグループ話し合う。教員が提示したMさんのD1～3を見て理解できる。	
	【予習】手引きP37～39を確認する。	60分
	【復習】Tさんの事例からD1～3の記述について振り返る。	120分
第13回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの情報からアセスメント(解釈、意味づけ、統合)を実践し、課題の発見、分析を理解する	
	【予習】実習の手引きP37～41を見てくる。	60分
	【復習】テキストP97～108を事例をよく読む。	120分
第14回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例について、得られた情報から実習記録E-1表を記述する。	
	【予習】手引きP37～39、51～53を見直す。	60分
	【復習】事例4 Mさんの情報を確認してE-1表を完成させる	120分
第15回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの介護上の課題を考える。グループで、E-1表から意見をだし、E-2表を完成させる。	
	【予習】テキストP66～108、手引きP37～39、51～53を読み直す。	60分
	【復習】計画実習まで、手引きを見直し情報収集についてまとめておく。	120分

授業科目名	実習指導			科目コード	W111-50				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	基礎実習					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を講義やグループでの調査等から学びます。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などをグループワークや個別指導で習得します。基本的態度を理解し、利用者とは接することができるようにロールプレイングを実践します。								
学習目標	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などを習得する。基本的態度を理解し、利用者とは接することができる。								
キーワード	基礎実習、施設介護、居宅介護、コミュニケーション、生活支援、介護記録								
テキスト・ 参考書等	令和4年度 介護実習の手引き 最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。 利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。								
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生として適切にかかわる基本姿勢が習得できる。 各種記録の目的を理解し、期限内に提出できる。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	介護実習生としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20		10	20			100
LO-1	50								50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。 ポスターツアー、ワールドカフェなどを用いた授業の展開も実施								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護実習の基礎的理解 実習の意義と目的 内容など	
	【予習】テキストP2～P22まで読む	90分
	【復習】感想・気づきを書く	90分
第2回	介護実習区分について 介護実習の施設を調べる	
	【予習】テキストP23～P37まで読む	90分
	【復習】グループワークで調べている施設について詳しく調べてまとめる	90分
第3回	実習施設の理解 2年生の実習報告会に参加する	
	【予習】報告集を読む 質問・感想などをまとめる	90分
	【復習】発表を聞いての感想をまとめ、提出する	90分
第4回	実習施設の理解 障害児・者施設の概要と生活について	
	【予習】地域の施設について 調べる	90分
	【復習】調査したことを報告できるようにまとめる	90分
第5回	実習施設の理解 在宅系サービスについて	
	【予習】在住地域の施設を調べる	90分
	【復習】実習施設の希望を考え、提出できるようにする	90分
第6回	介護実習の方法 基礎実習の目的・目標と実習の流れ(-1)(-2)	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習に向けて具体的な取り組みをイメージする	90分
第7回	介護実習の方法 到達目標を理解して、実習の課題の整理	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習の手引きを読む	90分
第8回	介護実習の方法 到達目標を達成するための取り組みについて考える	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】意見交換した内容を振り返り、まとめて課題を提出する	90分
第9回	介護実習における記録 日々の活動記録について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】課題を作成し提出する	90分
第10回	介護実習における記録 「利用者とのかかわりの記録」について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】課題を作成し提出する	90分

第11回	介護実習に対する準備 実習の心得・カンファレンスについて	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習の手引きを読む	90分
第12回	介護実習に対する準備 基本的な接遇と感染症予防について	
	【予習】一般的なマナーを調べる	90分
	【復習】自己行動を振り返り、マナーと感染予防の実践を生活に取り入れる	90分
第13回	オリエンテーション 実習施設への事前訪問・諸注意	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】施設に電話をかけたアポイントメントを取り、報告する	90分
第14回	特別講義 「居宅・施設介護における介護と介護職員の役割・実習生に望むもの」	
	【予習】実習の手引きを確認し読む	90分
	【復習】A-1表作成	90分
第15回	実習スケジュール、評価について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習に必要な物品準備、試験に向けての復習	90分

授業科目名	実習指導			科目コード	W111-51				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護福祉論、生活支援技術、コミュニケーション論、コミュニケー		後継科目	実習指導、介護過程実習					
関連科目	介護過程、生活支援技術、介護計画実習、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	基礎実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、新たな学習課題を明確にします。また、グループワーク等により情報・体験を共有化を図り学びを深めます。介護計画実習に向けて、介護過程の展開を基に、介護計画立案に必要な情報収集に関する知識を習得します。								
学習目標	基礎実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。介護計画実習に向けての目標を理解し、実習記録の書き方や利用者理解の方法が習得できる。								
キーワード	介護計画実習、ICFの視点、情報収集、レクリエーション、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座10介護総合演習・介護実習 富山短期大学 健康福祉学科 「介護実習の手引き」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。 利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。 各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように努力できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		30		10	20			100
LO-1	20								20
LO-2	20		10						30
LO-3			20						20
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワーク活動、参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	実習指導 授業の概要説明 介護計画実習までの流れ 基礎実習 事後学習(1) 訪問介護実習の振り返り	
	【予習】基礎実習訪問・施設 実習ファイルの確認をする。実習の手引き参照	30分
	【復習】基礎実習・訪問を終えて明らかになった課題を、指示された用紙に記入する。	60分
第2回	基礎実習 事後学習(2) 基礎実習・訪問 振り返り	
	【予習】訪問介護の目的について確認をする。	30分
	【復習】訪問介護実習の振り返りを通して、訪問介護の意義について指定の用紙に記入する。	60分
第3回	基礎実習 事後学習(3) 事前・事後レポートを読み返し、達成状況を客観的に整理する。そのことをとおして、残された課題を明らかにする。	
	【予習】B表の事例についてあらかじめ読んでくる。	30分
	【復習】B表の振り返りを用紙に記入する。	60分
第4回	基礎実習 事後学習(4) B表を振り返ります。	
	【予習】「実習の手引き」B表の要点を熟読してください。	30分
	【復習】事例課題の作成、提出。	60分
第5回	基礎実習 事後学習(5) C表 利用者との関わりの過程を振り返ります	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】授業で提示されたC表を完成する。	60分
第6回	基礎実習 事後学習(6) B表の振り返りをします。(まとめ・発表)	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】C表のポイントについて、再確認します。	60分
第7回	介護計画実習 事前学習(1) 実習のねらいと到達目標について説明します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】介護計画実習の流れを確認します。	60分
第8回	介護計画実習 事前学習(2) 受け持ち利用者像について明確にします。	
	【予習】平成27年度介護計画実習報告集を読んでくる。興味・関心を持った事例を3例取り上げる。	30分
	【復習】介護計画実習での各自の受け持ちたい利用者像を用紙に記入する。	60分
第9回	介護計画実習 事前学習(3) 実習課題の明確化 日々の実習目標の作成	
	【予習】実習の手引き「今日の実習目標」要点を読んでくる。	30分
	【復習】授業中の課題を完成する。	60分
第10回	介護計画実習 事前学習(4) 生活支援技術の確認 受け持ち利用者像の最終確認をして、実習での具体的な行動を計画します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】課題作成、提出。	60分

第11回	特別講義 介護計画実習にむけて、実習指導者から講義を受けます。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】事前レポート作成、提出。	60分
第12回	実習で想定される問題点に対する対応策を検討します。	
	【予習】事前レポート作成、提出	60分
	【復習】授業で提示された事例を振り返る。	60分
第13回	レクリエーション企画立案・報告書の書き方について説明	
	【予習】実習の手引きを読んでくる	30分
	【復習】レクリエーション企画書・報告書の確認	60分
第14回	介護計画実習で使用する記録用紙の配布。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】定期試験対策	60分
第15回	事前打ち合わせの オリエンテーション	
	【予習】定期試験対策	30分
	【復習】定期試験対策	60分

授業科目名	基礎実習 -1			科目コード	W111-60				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導		後継科目	介護計画実習 実習指導					
関連科目	生活支援技術 ころとからだのしくみ コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護を必要とする人が利用する施設・事業所で、実習指導者のシャドーイングをとおして、介護の仕事の魅力を感じることができる。								
学習目標	1. 観察をとおして、利用者がどのようにサービスを利用しているか理解することができる。 2. 観察をとおして、指導者がどのように利用者に関わっているか理解することができる。 3. 指導者のもとで利用者とのコミュニケーションをとることができる。 4. 介護職の仕事の内容と働く場を理解する。								
キーワード	シャドーイング コミュニケーション 介護の魅力 観察								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者とコミュニケーションをとることができる								
LO-2	生活支援技術 初歩的なコミュニケーションができる。 利用者が暮らしやすいように、安全に配慮した工夫がわかる。								
LO-3	記録と計画 見学・実施した事柄を実習記録に記録することができる。 利用者とのかかわりの事実が記録できる。								
LO-4	チームワーク 介護職員の業務内容を理解できる。 社会的役割 施設・事業所について理解できる。 家族とのかかわりが理解できる。								
LO-5	実習課題 自己の課題を設定し、計画的に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標」を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】A表追記	90分
第2回	2日目 1.2.3.6.7同様 8.職員に同行し、利用者を知る・いい介護に触れる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第3回	3日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とコミュニケーションをとる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第4回	4日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とコミュニケーションをとる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第5回	5日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とコミュニケーションをとる 気づきをまとめる 最終カンファレンス	
	【予習】B表記入 最終カンファレンスの準備をする	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。 C表を記入する。 経験録を記入確認する。	90分

授業科目名	基礎実習 -2			科目コード	W111-60				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導 基礎実習 -1		後継科目	介護計画実習 実習指導					
関連科目	生活支援技術 こころとからだのしくみ コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	言語による意思疎通が可能な高齢者または障害者と関わり、施設における生活やその人らしい暮らし方が理解でき、学内で学習した基礎的な生活支援技術について理解を深めます。また、利用者個々により生活の違いを理解し、個別ケアを理解すると共に、利用者・家族とのコミュニケーションの実践を行います。								
学習目標	1. 利用者とコミュニケーションができる。2. 高齢者・障がい者等の多様な生活を知る。3. 自立に向けた生活援助を見学・体験して、生活支援技術について理解を深める。								
キーワード	基礎実習、コミュニケーション、生活支援、施設実習、訪問介護実習 居宅サービス 通所介護								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者の理解 利用者とコミュニケーションができる。 多様な暮らし方がわかる。								
LO-2	生活支援技術 個々の生活支援の方法を知る 利用者が暮らしやすいように、安全に配慮した工夫がわかる。								
LO-3	記録と計画 見学・実施した事柄を実習記録に記録することができる。 利用者とのかかわりの事実が記録できる。								
LO-4	チームワーク 介護職員の業務内容を理解できる。 社会的役割 施設・事業所について理解できる。 家族とのかかわりが理解できる。								
LO-5	実習課題 自己の課題を設定し、計画的に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標」を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】A表追記	90分
第2回	2日目 1.2.3.6.7同様 8.職員に同行し、利用者を知る・いい介護に触れる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第3回	3日目 1.利用者と交流を図るため、コミュニケーション技法を用いて会話する。 2.生活支援技術の説明・見学する。	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第4回	4日目 1.利用者に自分からかわり、コミュニケーション技法を用いて意図的な会話を展開する。 2.生活支援を体験する(ADLの比較的自立している利用者の食事・排泄・移動・環境の整備の介助の補助をする。) 3・6・7は同様。	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第5回	5日目 1・2・3・6・7は同様。 最終カンファレンス 気づきをまとめる	
	【予習】B表記入 最終カンファレンスの準備をする	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。 C表を記入する。 経験録を記入確認する。	90分

授業科目名	介護計画実習			科目コード	W111-61				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	3単位					
前提科目(知識)	基礎実習 -1、基礎実習 -2		後継科目	介護過程実習					
関連科目	実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士国家資格								
授業の概要	救護施設、障害者支援施設、障害児入所施設、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、域密着型介護老人福祉施設、通所介護、富山型デイサービス、小規模多機能型居宅介護等、実習区分 に該当する施設・事業所で介護過程をととした介護計画の立案と、生活支援技術の基礎的な体験を行う。								
学習目標	1. 受け持ち利用者の情報をとおして介護過程のプロセスを理解する。 2. 指導者と共に日常生活支援を行う								
キーワード	介護計画立案 受け持ち利用者 アセスメント 生活支援技術 時差勤務								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学健康福祉学科 2024年度「介護実習の手引き（介護計画実習）」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。 配属された実習場所で生活をしているその他の利用者をだまかに捉える事ができる。								
LO-2	生活支援技術 個別的なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる								
LO-3	利用者の現在の心身の状況が分かるように、具体的に記録する。受け持ち利用者の思いを開度計画を立案し、簡潔に記録できる。								
LO-4	チームワーク 受け持ち利用者を中心に多職種との協働を経験できる。 多職種との協働の中で介護職員や個人の役割が理解できる。 社会的役割								
LO-5	実習課題 設定した課題を実践し、評価することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	受け持ち利用者の選定 1.配属先の利用者の特性を知る。2.『受け持ちしたい利用者像』と照らし合わせる。3.指導者より、複数の利用者を紹介してもらう。4.いろいろな場面をとどして利用者にかかわる。 1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。経験録をチェックする。	30分
第2回	受け持ち利用者の選定 1.配属先の利用者の特性を知る。2.『受け持ちしたい利用者像』と照らし合わせる。3.指導者より、複数の利用者を紹介してもらう。4.いろいろな場面をとどして利用者にかかわる。 1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。経験録をチェックする。	30分
第3回	受け持ち利用者の決定、指導者、スタッフ、巡回指導教員等に相談する。受け持ち利用者を決定する。受け持ち利用者に説明し同意を得る。1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。 実習指導者または担当職員の指導のもと、生活支援技術を「見学」「模倣」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。	30分
第4回	受け持ち利用者の情報収集 個人ファイル、利用者、実習指導者、担当職員、多職種の方々から情報を収集しD-1.2.3表を記入する。情報の記入にあたっては「実習の手引き」を参照する。介護職以外の職種からも情報を得る。1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。実習指導者または担当職員の指導のもと、生活支援技術を「見学」	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。	30分
第5回	受け持ち利用者の情報収集 個人ファイル、利用者、実習指導者、担当職員、多職種の方々から情報を収集しD-1.2.3表を記入する。情報の記入にあたっては「実習の手引き」を参照する。介護職以外の職種からも情報を得る。1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。実習指導者または担当職員の指導のもと、生活支援技術を「見学」	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第6回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う 実習指導者又は担当職員に提出し、内容の確認をする。指導者から助言をもらい、再び情報収集を行い記入する。追加・訂正したものを実習指導者または担当職員に提出し、内容の確認をする。介護職以外の職種の方々からも情報をもらいD表に記載する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第7回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う 実習指導者又は担当職員に提出し、内容の確認をする。指導者から助言をもらい、再び情報収集を行い記入する。追加・訂正したものを実習指導者または担当職員に提出し、内容の確認をする。介護職以外の職種の方々からも情報をもらいD表に記載する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第8回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う D表の完成 実習指導者又は担当職員に提出し、内容の確認をする。指導者から助言をもらい、再び情報収集を行い記入する。追加・訂正したものを実習指導者または担当職員に提出し、内容の確認をする。介護職以外の職種の方々からも情報をもらいD表に記載する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第9回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う アセスメントを行う。「実習の手引き」の記入上の留意点を再度確認し、全体像を把握する。介護上の課題の方向性について、考え実習指導者、担当職員、多職種と意見交換をする。E表に記入する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第10回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う アセスメントを行う。「実習の手引き」の記入上の留意点を再度確認し、全体像を把握する。介護上の課題の方向性について、考え実習指導者、担当職員、多職種と意見交換をする。E表に記入する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分

第11回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。アセスメントの完成 指導者の指導を受けながらアセスメントを完成する。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第12回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。介護計画の立案 生活課題に添って、具体的で達成可能な目標を設定する。具体的援助内容(具体策)を立案し、F表に記入する。F表を記入後、指導者の確認を得る。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第13回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。介護計画の立案 生活課題に添って、具体的で達成可能な目標を設定する。具体的援助内容(具体策)を立案し、F表に記入する。F表を記入後、指導者の確認を得る。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第14回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。介護計画の立案 生活課題に添って、具体的で達成可能な目標を設定する。具体的援助内容(具体策)を立案し、F表に記入する。F表を記入後、指導者の確認を得る。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第15回	情報収集・アセスメント・個別援助計画の立案という一連の介護過程を振り返る。 2.他職種との関わりについて振り返る	
	【予習】 B表記入 反省会の準備をする。	30分
	【復習】 A-1・2表・B表・C表・D表・経験録・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	30分

授業科目名	こころとからだのしくみ			科目コード	W112-10				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美 白井 聡美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉等）として保健所、保健福祉センター、長寿福祉課等に勤務し、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。（中島）								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	こころとからだのしくみ					
関連科目	こころとからだのしくみ こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	介護実践に必要なこころとからだのしくみの導入科目として、健康の概念、こころとからだのしくみの基礎的理解をはかり、こころのしくみについて基礎的な知識を得る内容とする。 認知症や障害のある人がその人らしい生活を実現できるよう、心理的側面から介護実践を考えることができる内容とする。								
学習目標	介護を必要としている人の生活支援を行うため、健康の概念、介護実践の根拠となる人間の脳のしくみと働き、心理を理解する学習とする。								
キーワード	介護、認知症、脳、尊厳								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」第2版 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について理解する。								
LO-2	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について説明できる。								
LO-3	こころのしくみについて学生自身の体験や身近な高齢者等を通して考察することができる。								
LO-4	こころのしくみについて関心をもち、主体的に学ぼうという意欲がある。								
LO-5	こころのしくみを理解し、グループワークにおいて多様な考えをもつクラスメイトに共感できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		50	20			30			100
LO-1		30							30
LO-2		10							10
LO-3		10	10			10			30
LO-4						10			10
LO-5			10			10			20
備考	Aは普通の授業の中で評価する。 授業アンケートの質問等は、次の講義で共有する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	こころとからだのしくみの基礎：オリエンテーション、健康とは何か（中島真由美）	
	【予習】シラバスを読んで授業の内容について確認する。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第2回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するこころのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第3回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するこころのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第4回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するからだのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第5回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するからだのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第6回	こころのしくみの理解：こころのしくみについて（白井聡美）	
	【予習】こころのしくみについて本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第7回	こころのしくみの理解：人間欲求の基本的理解・自己実現（白井聡美）	
	【予習】テキストp14～18を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第8回	こころのしくみの理解：自己概念について（白井聡美）	
	【予習】テキストp19～23を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第9回	こころのしくみの理解：脳のつくりと働きの理解（白井聡美）	
	【予習】テキストp25～27を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第10回	こころのしくみの理解：認知のしくみ（白井聡美）	
	【予習】テキストp25～28を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分

第11回	こころのしくみの理解：学習・記憶・思考のしくみ（白井聡美）	
	【予習】テキストp28～32を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第12回	こころのしくみの理解：感情・情動のしくみ（白井聡美）	
	【予習】テキストp32～33を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第13回	こころのしくみの理解：意欲・動機づけのしくみ（白井聡美）	
	【予習】テキストp33～34を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第14回	こころのしくみの理解：適応のしくみ（白井聡美）	
	【予習】テキストP35～38を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第15回	こころのしくみの理解：まとめ（白井聡美）	
	【予習】これまでの学びを振り返っておく。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分

授業科目名	ころとからだのしくみ			科目コード	W112-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - ころとからだのしくみ		担当教員名	白井 聡美					
実務経験	総合病院や看護教育機関での実務経験をもとに必要な知識や技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	ころとからだのしくみ、発達と老化の理解、					
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目								
授業の概要	人体を構成している各組織や器官の構造(解剖学)や機能(生理学)、生体機能を維持するしくみを学ぶ。								
学習目標	対象の理解や介護技術の基礎となる人体の構造と機能に関する基礎知識を身につける。								
キーワード	解剖、生理、生命、ヒト、細胞、組織、器官								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座 1 ころとからだのしくみ 第2版 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能に関する基礎知識がある。								
LO-2	人体を構成している各組織や器官の構造と機能が説明できる。								
LO-3	各組織や器官のしくみやはたらきについて、学生の体や身の回りで起こっていることと結びつけて考えることができる。								
LO-4	人体の構造と機能について関心を持ち、主体的に受講できる。								
LO-5	共に学ぶ者が互いに気持ちよく学べるよう学習環境に気を配ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20			20			100
LO-1	30								30
LO-2	20								20
LO-3	10		20						30
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	Aは普通の授業の中で評価する。 授業アンケートの質問等は、次の講義で共有する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション からだのしくみの理解 組織・器官、身体各部の名称	
	【予習】テキストp42～47を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第2回	からだのしくみの理解 細胞、遺伝	
	【予習】テキストp46～49を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第3回	からだのしくみの理解 脳神経、神経系	
	【予習】テキストp49～53、p71～72を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第4回	からだのしくみの理解 感覚器	
	【予習】テキストp53～56、p122～127を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第5回	からだのしくみの理解 感覚器	
	【予習】テキストp53～56、p122～127を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第6回	からだのしくみの理解 呼吸器、循環器	
	【予習】テキストp56～60を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第7回	からだのしくみの理解 消化器	
	【予習】テキストp60～63を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第8回	からだのしくみの理解 消化器	
	【予習】テキストp60～63を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第9回	からだのしくみの理解 泌尿器、生殖器	
	【予習】テキストp63～64、p72～73を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第10回	からだのしくみの理解 骨、筋肉、関節	
	【予習】テキストp65～70を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分

第11回	からだのしくみの理解 骨、筋肉、関節	
	【予習】テキストp65～70を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第12回	からだのしくみの理解 内分泌	
	【予習】テキストp74～78を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第13回	からだのしくみの理解 血液、体液、リンパ液	
	【予習】テキストp78～80を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第14回	からだのしくみの理解 生命を維持するしくみ	
	【予習】テキストp81～82を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第15回	からだのしくみの理解 介護福祉職に必要な薬の知識、まとめ	
	【予習】テキストp82～86を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分

授業科目名	こととからだのしくみ			科目コード	W112-12				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こととからだのしくみ		担当教員名	白井 聡美					
実務経験	総合病院や看護教育機関での実務経験をもとに必要な知識や技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	こととからだのしくみ		後継科目	こととからだのしくみ					
関連科目	発達と老化の理解 ・ 、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	生活支援を行う際に必要となる基礎的な知識として、移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の介護実践の場面に応じたこととからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する内容とする。								
学習目標	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の介護実践の場面に必用なこととからだのしくみに関する基本的な知識を身につける。 介護実践時の観察のポイントや対応に関する基礎的な知識を身につける。								
キーワード	移動、身じたく、食事、入浴、清潔保持								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座11「こととからだのしくみ」第2版 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識がある。								
LO-2	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の観察のポイントを説明できる。								
LO-3	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみを理解し、変化と気づきに対応する思考力、判断力がある。								
LO-4	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアについて関心をもち主体的に学び続ける力がある。								
LO-5	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアが必要な人への思いに共感する力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		30			30			100
LO-1	20								20
LO-2	10					10			20
LO-3	10		10						20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他 A は授業の中で評価する。 個人ワーク、グループワークを取り入れる。 授業アンケートでの質問は必要に応じ、次回授業で全体で共有する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第3章 移動に関連したところとからだのしくみ 第1節 移動のしくみ	
	【予習】教科書P90～P104までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第2回	第3章 移動に関連したところとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が移動に及ぼす影響	
	【予習】教科書P106～P111までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第3回	第3章 移動に関連したところとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P112～P115までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第4回	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみ 第1節 身じたくのしくみ グループワーク：身じたくに関わる部位の役割と特徴、起こる変化についてまとめる	
	【予習】教科書P118～P142まで目を通してくる。	90分
	【復習】自分のグループが担当するページを読み直し、不明点を調べる。発表に向けてどのように資料を作成するか考える。	90分
第5回	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみ 第1節 身じたくのしくみ グループワークの続き：身じたくに関わる部位の役割と特徴、起こる変化についてまとめ、発表の準備をする	
	【予習】教科書P118～P142の間で、自分のグループが担当するページをよく読み、不明点を調べたり、まとめ方を考えてくる。	90分
	【復習】作成した資料を見直す。発表の準備をする。	90分
第6回	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響 グループワークの発表	
	【予習】クラスメイトが理解しやすい発表内容を考え、準備する。役割分担を確認する。	90分
	【復習】グループワークの発表内容のおさらい、資料のファイリング	90分
第7回	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P143～P151までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第8回	第5章 食事に関連したところとからだのしくみ 第1節 食事のしくみ	
	【予習】教科書P154～P160までを読んでくる。 p161演習5-1「摂食嚥下の5期モデルと内容」の空欄を埋めてくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第9回	第5章 食事に関連したところとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が食事に及ぼす影響	
	【予習】教科書P162～P168までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第10回	第5章 食事に関連したところとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P169～P175までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分

第11回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみ 第1節 入浴・清潔保持のしくみ	
	【予習】教科書P178～P188までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第12回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみ 第1節 入浴・清潔保持のしくみ	
	【予習】教科書P178～P188までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第13回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響	
	【予習】教科書P190～P199までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第14回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P201～P210までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでのノートを振り返りみてくる。	90分
	【復習】移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみについてまとめる	90分

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W112-20				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美 堀 英子					
実務経験	市の職員（看護師）として病院に勤務し、高齢者のケアや家族の相談、社会資源との連携をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	発達と老化の理解					
関連科目	こころとからだのしくみ 、こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士、介護職員初任者研修								
授業の概要	人間の成長と発達の基本的な考え方を踏まえ、ライフサイクルの各期における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題及び特徴的な疾病について理解する内容とする。 老化に伴う身体的・心理的・社会的変化と生活への影響を理解する内容とする。								
学習目標	人間の成長と発達の基礎を理解する。 老年期の発達と成熟を理解する。 老化に伴うこころとからだの変化と生活を理解する。								
キーワード	成長と発達 発達理論 老化 高齢者の心理 高齢者に多い症状・病気								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」中央法規、 介護職員初任者研修テキスト1介護のしごとの基礎 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活についての基礎的知識がある。								
LO-2	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活についての基礎的知識をふまえ、高齢者から若い頃と比べて生活面で変化したと思うこと等、聞き取ることができる。								
LO-3	高齢者疑似体験に基づき、老化に伴うこころとからだの変化を表現することができる。								
LO-4	高齢者疑似体験で気づいた老化にともなうこころとからだの変化を根拠とつなげることができる。								
LO-5	高齢者の多様な生き方や考え方に共感し、受容することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	20	10	50			20			100
LO-1	10		10						20
LO-2	10		10						20
LO-3			20						20
LO-4		10				10			20
LO-5			10			10			20
備考	レポートにコメントする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間の成長と発達の基礎的理解 第1節 成長・発達の考え方 / 第2節 成長・発達の原則・法則	
	【予習】発達と老化の理解 P2～9を読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第2回	人間の成長と発達の基礎的理解 第3節 成長・発達に影響する要因	
	【予習】発達と老化の理解 P10～P17を読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第3回	人間の発達段階と発達課題 第1節 発達理論	
	【予習】発達と老化の理解 P20～P23までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第4回	人間の発達段階と発達課題 第2節 発達段階と発達課題	
	【予習】発達と老化の理解 P24～P27までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第5回	人間の発達段階と発達課題 第2節 発達段階と発達課題 / 第3節 身体機能の成長と発達	
	【予習】発達と老化の理解 P26～P39までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	人間の発達段階と発達課題 第3節 身体的機能の成長と発達	
	【予習】発達と老化の理解 P39～P46までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第7回	人間の発達段階と発達課題 第4節 心理的機能の発達	
	【予習】発達と老化の理解 P教科書P47～P54までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第8回	人間の発達段階と発達課題 第5節 社会的機能の発達	
	【予習】発達と老化の理解 P55～P67までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第9回	老化に伴うこころとからだの変化と日常	
	【予習】教科書P70～P106、初任者研修テキストP268～P295までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、該当するワークシートを完成させる。	90分
第10回	老化に伴うこころとからだの変化と日常	
	【予習】教科書P70～P106、初任者研修テキストP268～P295までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、該当するワークシートを完成させる。	90分

第11回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章第1節 老化にともなう身体的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P110～P140までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第12回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章第2節 老化にともなう心理的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P143～P162までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第13回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章第3節 老化にともなう社会的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P164～P184までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第14回	人間の成長と発達の基礎的理解 高齢者と健康	
	【予習】初任者研修テキストP296からP327までよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第15回	人間の成長と発達の基礎的理解 高齢者と健康	
	【予習】初任者研修テキストP296からP327までよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W112-21				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	山本 朋子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	発達と老化の理解		後継科目						
関連科目	こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目 社会福祉主事任用資格関連科目								
授業の概要	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識を習得するとともに、中年・高齢期にみられる代表的な疾患および生活上の留意点を理解する。								
学習目標	高齢者の健康について理解する。 高齢者の症状・疾患の特徴について理解する。 高齢者に多い疾患の原因、症状、治療を知り、生活上の留意点を理解する。 保健医療職との連携の必要性やあり方について理解する。								
キーワード	高齢者に多い症状と疾患。疾患の原因、症状、治療。生活上の留意点。保健医療職との連携。								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点について理解している。								
LO-2	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点を説明できる。								
LO-3	病気に罹患することにより生じる身体的、心理的、社会的変化など関連づけながら包括的に疾患を持つ人について考えを深めることができる。								
LO-4	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点について関心を持ち意欲的に学ぶ事ができる。								
LO-5	主体的に自分の考えを述べ、他者の意見も尊重することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	30				20			100
LO-1	20	20							40
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4	10	10				10			30
LO-5						10			10
備考	試験は疾病に関する原因、症状、治療法、生活上の留意点を中心に出题します。質問やミニテストの解答等は授業で解説します。 第4章「老化にともなうこころとからだの変化と生活」や「こころとからだのしくみ」で学習した知識が所々で必要となります。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 第1節 高齢者の健康 第2節 高齢者の症状・疾患の特徴	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。第4章「老化にともなうこととからだの変化と生活」「こととからだのしくみ」で学習した内容を復習する。これまで接した人の中に授業内容に該当する人がいないか考える。また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。	90分
第2回	第3節 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 骨格系・筋系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第3回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 脳・神経系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第4回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 皮膚・感覚器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第5回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 循環器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第6回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 呼吸器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第7回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 消化器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第8回	これまでのまとめ・・・学習の整理 中間テスト	
	【予習】これまでの授業内容を学習し、中間テストの勉強をする。授業中に実施したミニテストを振り返る。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノート、中間テストを再度復習する。これまでに学んだ疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。「学習の整理」を記載し次回提出できるようにする。	90分
第9回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 腎・泌尿器系 「学習の整理」を提出	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第10回	「学習の整理」記載内容の確認。中間テストの解答。	
	【予習】テキスト、授業の資料、自分のノート、中間テストを再度復習する。これまでに学んだ疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
	【復習】腎・泌尿器系も含めテキスト内容を確認する。	90分

第11回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 内分泌・代謝系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第12回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 歯・口腔疾患 ミニテスト課題提示	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。 配布された「ミニテスト」に取り組む。分からない言葉を調べる。	90分
第13回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 悪性新生物 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 感染症	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。試験勉強	90分
第14回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 精神疾患他	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。試験勉強	90分
第15回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 その他の疾患 第4節保健医療との連携 ミニテストの解答。まとめ	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。 これまでの授業内容を確認する。理解できていないことや理解が不十分な内容について明らかにし、質問の準備をする。配布されたミニテストの解答。分からない言葉を調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、これまでの学習内容を確認し理解する。 試験勉強	90分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W112-30				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	四日 順子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	こころとからだのしくみ こころとからだのしくみ		後継科目	認知症ケア論					
関連科目	発達と老化の理解、高齢者福祉論、介護実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	認知症の理念をはじめ、認知症をもつ人の症状の特徴や治療、生活障害や心理状態について学び、本人や家族へのかかわりの基本的な知識を習得します。								
学習目標	1.認知症ケアの理念や視点が理解できる。 2.認知症の原因となる主な病気の症状や特徴とそれに伴うこころとからだの変化が理解できる。 3.認知症の症状・診断・治療・予防の概要が理解できる。 4.認知症を持つ人の家族への支援の基本がわかる。								
キーワード	認知症 中核症状 行動・心理症状 (BPSD) パーソン・センタード・ケア								
テキスト・ 参考書等	介護職員初任者研修テキスト1 介護のしごとの基礎 最新介護福祉士養成講座13 認知症の理解								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症を取り巻く現状、認知症の原因疾患・中核症状・行動・心理症状 (BPSD)、パーソン・センタード・ケアについて理解している。								
LO-2	認知症の人の心理に共感し、課題の中で、それに関する自身の思いを表現することができる。								
LO-3	それぞれの認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状にあわせた対応方法を考えることができる。								
LO-4	授業に前向きな姿勢で取り組み、新しい知識を吸収したいという思いで講義に臨んでいる。								
LO-5	相手の立場に立って考えられる姿勢があり、円滑なコミュニケーションをとることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30		10						40
LO-2	10		10						20
LO-3	10		10						20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、普通の授業の中で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 認知症を取り巻く状況 (担当: 中島)	
	【予習】テキスト p332～337、テキスト p2～13を読む。	60分
	【復習】「認知症を取り巻く状況」について学んだことを資料やノートに整理する。	120分
第2回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 脳の機能と認知症、認知症とは何か (担当: 白井)	
	【予習】テキスト p338～342、テキスト p14～21を読む。	60分
	【復習】「脳の機能と認知症」「認知症とは何か」について学習したことを資料やノートに整理する。	120分
第3回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症ともの忘れの違い、認知症に類似した状態 (担当: 白井)	
	【予習】テキスト p343～345、テキスト p21～26を読む。	60分
	【復習】「認知症ともの忘れの違い」「認知症に類似した状態」について学習したことをノートや資料に整理する。	120分
第4回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症の診断 (担当: 中島)	
	【予習】テキスト p346～350、テキスト p65～77まで読む。	60分
	【復習】「認知症の診断」について学習したことを資料やノートに整理する。	120分
第5回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症の原因疾患とその病態: アルツハイマー型認知症、血管性認知症 (担当: 白井)	
	【予習】テキスト p351～354、テキスト p78～83を読む。	60分
	【復習】「アルツハイマー型認知症」「血管性認知症」について資料やノートに整理する。	120分
第6回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症 (担当: 白井)	
	【予習】テキスト p355～356、テキスト p83～88、95を読む。	60分
	【復習】「レビー小体型認知症」「前頭側頭葉変性症」について資料やノートに整理する。	120分
第7回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症の原因疾患とその病態: クロイツフェルト・ヤコブ病、治療可能な認知症、若年性認知症 (担当: 白井)	
	【予習】テキスト p357～360、テキスト p88～94までを読んでおく	60分
	【復習】「クロイツフェルト・ヤコブ病」「治療可能な認知症」「若年性認知症」について資料やノートに整理する。	120分
第8回	認知症にともなうことからの変化と日常生活 < 学外研修 > 認知症の人の心理、生活障害の理解 (担当: 中島)	
	【予習】テキスト p21～31、p42～48を読む。	60分
	【復習】「認知症の人の心理」「生活障害の理解」について、資料やノートに整理する。	120分
第9回	認知症にともなうことからの変化と日常生活 < 学外研修 > 認知症の人の心理、生活障害の理解 (担当: 中島)	
	【予習】テキスト p21～31、p42～48を読む。	60分
	【復習】「認知症の人の心理」「生活障害の理解」について、資料やノートに整理する。	120分
第10回	認知症にともなうことからの変化と日常生活 認知症の中核症状 (担当: 白井)	
	【予習】テキスト p366～367、テキスト p34～41を読む。	60分
	【復習】「認知症の中核症状」について、資料やノートに整理する。	120分

第11回	認知症にともなうこととからだの変化と日常生活 認知症のBPSD（行動・心理状況）（担当：白井）	
	【予習】テキスト p366～p367、テキスト p34～41、p49～64を読む。	60分
	【復習】「認知症の中核症状」「認知症のBPSD」について、資料やノートに整理する。	120分
第12回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症の治療と予防（担当：中島）	
	【予習】テキスト p361～365、テキスト p96～102、p103～107を読む。	60分
	【復習】「認知症の治療」「認知症の予防」について、資料やノートに整理する。	120分
第13回	認知症にともなうこととからだの変化と日常生活 認知症の中核症状とBPSD（行動・心理状況）振り返り（担当：白井）	
	【予習】テキスト p368～371、テキスト p49～64を読む。	60分
	【復習】「認知症のBPSD（行動・心理状況）」について、資料やノートに整理する。	120分
第14回	認知症にともなうこととからだの変化と日常生活 認知症の人の環境整備とかかわり方（担当：中島）	
	【予習】テキスト p372～379を読む。	60分
	【復習】「認知症の人の環境整備」「認知症の人へのかかわり方」について、資料やノートを整理する。	120分
第15回	家族への支援・まとめ（担当：中島）	
	【予習】テキスト p380～385を読む。	30分
	【復習】認知症のある人のケアについてまとめる。	180分

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W112-40				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として保健福祉センター所長、障害福祉課長として、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	障害者ケア論 生活支援技術					
関連科目	障害者福祉論、こころとからだのしくみ ・ 、発達と老化の理解 ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、知的障害、精神障害等、障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
学習目標	障害の概念、障害特性の基本的理念、障害福祉制度について理解する。 それぞれの障害に関する医学的・心理的知識を習得する。 障害特性に応じたケア、環境にも配慮した介護の視点を理解し、よりよく生きるためのケアを考えることができる。								
キーワード	知的障害、精神障害、高次脳機能障害、発達障害、難病、多職種連携、家族支援								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害の概念や福祉の基本的理念を踏まえ、知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を理解する。								
LO-2	障害の概念や福祉に基本理念を踏まえ知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を説明できる								
LO-3	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、知的障害、精神障害等の特性をふまえ、支援の方法について考える思考力・判断力がある。								
LO-4	知的障害、精神障害等について、教科書以外に調べ主体的に学ぶ意欲がある。								
LO-5	知的障害、精神障害のある人を受容、共感することができる。グループワークを通して多様なメンバーの意見を尊重できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	50			20	10		100
LO-1		10	10						20
LO-2		10	10						20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10				10		20
備考	その他は授業態度、受講後の感想などA、グループワークの参加状況B								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、障害の概念とICF、障害福祉の基本的理念	
	【予習】障害の概念と障害福祉の基礎理念について障害者ケア論 のテキスト・資料を確認してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、障害者ケア論 で学ぶことについてノートを整理する。	90分
第2回	障害の基礎的理解 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、家族の心理、かかわり方の支援の理解	
	【予習】テキストをよく読み、わからないところを調べておく。	90分
	【復習】障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴について資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害の基礎的理解 障害者スポーツに関する諸施策、障害福祉制度と介護保険制度	
	【予習】障害者福祉制度と介護保険制度について説明できるようにしておく。	90分
	【復習】障害者スポーツに関する諸施策、障害福祉制度と介護保険制度について資料・ノートを整理する。	90分
第4回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 2章第1節 障害のある人の心理について理解する	
	【予習】障害のある人の心理について説明できるようにしておく。	90分
	【復習】障害のある人の心理について資料・ノートを整理する。	90分
第5回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第1節 知的障害 : 知的障害とは、障害の原因、障害の特性に応じた支援、ライフステージに応じた関わりについて理解する	
	【予習】テキストP160～P171ページをよく読み、知的障害について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第1節 知的障害 : 知的障害者の支援の実際（特別講義）	
	【予習】前回の講義内容に目を通し、知的障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第7回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第2節 精神障害 : 精神障害とは、障害の種類、障害の特性の理解、障害の特性に応じた支援について理解する。	
	【予習】 テキストP172～P183をよく読んで精神障害の種類と特性について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理し、精神障害者の支援について考える。	90分
第8回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第3節 精神障害 精神障害支援の実際（特別講義）	
	【予習】前回の資料に目を通してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第9回	第3章 障害の特性に応じた支援について理解する 第3節 高次脳機能障害 高次脳機能障害とは、障害の原因、特性の理解、支援について理解する	
	【予習】高次脳機能障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	第3章 障害の特性に応じた支援について理解する 第3節 高次脳機能障害 高次脳機能障害とは、障害の原因、特性の理解、支援について理解する	
	【予習】高次脳機能障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分

第11回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第4節 発達障害 : 発達障害とは、障害ごとの特性を理解する。	
	【予習】テキストP196～P207をよく読み、発達障害について調べてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第4節 発達障害 : 生活の特性と生活支援、保護者の支援、支援機関について理解する。	
	【予習】テキストP202～P207をよく読み、発達障害者の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、資料等からノートを整理する	90分
第13回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第5節 難病 : 難病とは、おもな難病の理解、難病の特性の理解、難病の特性に応じた支援について理解する。	
	【予習】テキストP208～P217をよく読んで、難病について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第14回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第5節 難病 : 難病支援の実際（特別講義）	
	【予習】当事者の方の難病について調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】1回から14回までを振り返り、障害のある人のケアについてわからないことを整理してくる。	90分
	【復習】障害のある人のケアについてまとめる	90分

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W112-41				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として保健福祉センター所長、障害福祉課長として、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	こころとからだのしくみ ・ 、発達と老化の理解 、障害者ケア論		後継科目	医療的ケア					
関連科目	発達と老化の理解 、こころとからだのしくみ 、介護の基本 、生活支援技術 、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
学習目標	障害の概念、障害福祉の基本的理念、障害福祉制度等について理解する。 それぞれの障害特性に関する医学的・心理的知識を習得する。 障害特性に応じたケア、環境にも配慮した介護の視点を理解し、よりよく生きるためのケアを考えることができる。								
キーワード	肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語障害、内部障害								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト 「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について基礎的知識がある。								
LO-2	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について説明できる。								
LO-3	身体障害の特性をふまえ、本人及び家族の支援について考える思考力・判断力がある。								
LO-4	身体障害者及び家族の支援について、主体的に学ぶ意欲がある。								
LO-5	身体障害の特性に応じて、尊厳を大切に作る人間性を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	50			20			100
LO-1		10	10						20
LO-2		5	10						15
LO-3		5	10						15
LO-4		5	10			10			25
LO-5		5	10			10			25
備考	その他は、授業態度、グループワークでの発言等								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・障害者ケア論 の振り返り	
	【予習】障害者ケア論 で学んだことを振り返ってくる。	90分
	【復習】障害者権利条約、ノーマライゼーション、障害受容等についてノートを整理する。	90分
第2回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 肢体不自由のある人の理解	
	【予習】身体的特性の理解、障害の原因となるおもな疾患についてテキストをよく読む。からだのしくみを予習しておく。	90分
	【復習】身体障害その他の障害のある人の心理面・生活面から障害の特性に応じた支援を考え資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第3節視覚障害のある人の理解	
	【予習】眼のしくみについて調べておく。	90分
	【復習】視覚障害のある人の心理面・生活面からあ障害の特性に応じた支援を考え資料・ノートを整理する。	90分
第4回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第4節聴覚・言語障害の種類、原因、身体的・心理的・社会的側面の特性をとらえ、支援方法を理解する。	
	【予習】聴覚・言語障害の原因・種類、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】聴覚・言語障害のある人の特性を踏まえ、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第5回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章5節 重複障害のある人の原因・特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】視覚障害・重複障害、原因についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。目が見えないことからくる生活の支障を考える。	90分
	【復習】視覚障害、重複障害の特性に応じた支援について、生活上の留意点や制度・社会資源の活用についてまとめ、資料・ノートを整理する。	90分
第6回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（心臓機能障害）の原因、治療方法、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】心臓機能障害の原因、治療方法、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。 からだのしくみ心臓の機能について調べる。	90分
	【復習】心臓機能障害のある人の特性と支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第7回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（呼吸機能障害）の原因、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】呼吸機能障害、原因、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。 からだのしくみ呼吸機能を予習する。	90分
	【復習】呼吸機能障害の特性・支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第8回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（腎臓機能障害）の原因、治療・管理、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】腎臓機能障害の原因、治療・管理、特性についてテキストをよく読み、わからないところを調べておく。	90分
	【復習】腎臓機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第9回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害）の症状、特性を知り、支援方法を理解する	
	【予習】膀胱・直腸障害、小腸機能障害の症状、特性についてについてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第10回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（HIV・肝臓機能障害）の症状と特性、支援方法について理解する	
	【予習】HIV・肝臓機能障害の症状・特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】HIV・肝臓機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分

第11回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 第2章第7節 重症心身障害の特性と生活、支援方法について理解する	
	【予習】重症心身障害の分類、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】重症心身障害者の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第12回	第4章 連携と協働 第1節 地域のサポート体制について理解する（特別講義）。	
	【予習】テキストP224～P237をよく読んで、地域のサポート体制について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第13回	第4章 連携と協働 第2節 チームアプローチについて理解する。	
	【予習】テキストP238～P246をよく読んで、チームアプローチについて調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、チームアプローチについて考える。	90分
第14回	第5章 家族への支援 第1節 家族への支援について理解する。	
	【予習】テキストP250～P261をよく読んで家族の支援について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、家族の支援について考える。	90分
第15回	第5章 家族への支援 第2節 家族の介護力の評価と介護負担軽減について理解する。まとめ	
	【予習】テキストP262～P274をよく読んで、家族の介護力の評価について調べてくる。	90分
	【復習】家族の介護力を踏まえた支援について考える。定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分

授業科目名	社会保障論			科目コード	W121-10				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	児童家庭福祉論、地域福祉論					
関連科目	介護福祉論、ならびに高齢者福祉論、								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	わが国の社会保障制度の全体像を学ぶとともに、それがどのように機能し、私たちの暮らしをどう支えているかを理解する。 1 社会保障制度の役割と意義、仕組み 2 介護保険制度、障害者総合支援法など専門領域に関する制度								
学習目標	社会保障制度を構成する社会保険、社会福祉、あるいは社会手当など広く理解を深め、公衆衛生も含めそれぞれの現状と課題までの理解を目指す。								
キーワード	社会保障制度、介護保険、障害者の自立支援、消費者保護法、バリアフリー法								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座2「社会の理解」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識を身につけている。								
LO-2	人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技術・技能を身につけている。								
LO-3	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活の基本機能、ライフスタイルの変化、家族の機能と役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】地域福祉の理念、地域福祉の歴史的展開、地域福祉の充実、災害と地域社会に関して、授業内容をまとめておく。	90分
第2回	社会・組織の機能と役割、地域、地域社会、地域社会における生活支援、地域福祉の発展、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】地域共生社会を目指す社会的背景、地域共生社会の理念、地域共生社会に向けた取り組み、地域包括ケアの理念、地域包括ケアシステムについてまとめておく。	90分
第3回	地域共生社会、地位包括ケア	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】社会保障の範囲、社会保障の意義と役割、社会保障の目的と機能、ライフサイクルから見た社会保障についてまとめておく。	90分
第4回	社会保障の基本的な考え方、日本の社会保障制度の発達、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第5回	日本の社会保障制度のしくみ	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第6回	現代社会と社会保障制度、高齢者保健福祉の動向	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第7回	高齢者保健福祉に関する法体系、介護保険制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第8回	介護保険制度、介護保険制度における組織、団体の役割、介護保険制度における介護支援専門員の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第9回	障害者保健福祉の動向、障害者の定義、障害者保健福祉に関する制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第10回	障害児に対する支援制度、障害者総合支援制度の目的、障害福祉サービスの種類と内容、利用手続き	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分

第11回	障害者区分の認定、介護実践に関連する諸制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第12回	介護実践にかかわる諸制度（貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べておく。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第13回	介護実践にかかわる諸制度（地域生活を支援する制度・施策）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べておく。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第14回	これまでのまとめと振り返り（第1章～第3章）	
	【予習】第1章～第3章を読んで、理解できなかった箇所を抽出する	90分
	【復習】第1章～第3章を読んで、理解できなかった箇所を理解する	90分
第15回	これまでのまとめと振り返り（第4章～第6章）	
	【予習】第4章～第6章を読んで、理解できなかった箇所を抽出する	90分
	【復習】第4章～第6章を読んで、理解できなかった箇所を理解する	90分

授業科目名	インターンシップ			科目コード	W131-20				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	小平 達夫 吉牟田 裕						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	介護事務概論	後継科目	医療事務概論、福祉ビジネス、介護福祉経営論						
関連科目									
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク								
授業の概要	医療機関（病院又は診療所）や介護保険関連施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などで医療事務、介護事務、福祉ビジネス企業の見学及び体験を行う。								
学習目標	医療・介護福祉の現場において医療事務や介護事務、福祉ビジネスなどの仕事を見学し、その業務の一部を体験することによって、医療事務・介護事務の役割及び福祉ビジネス企業を理解するとともに、その仕事に必要な知識・技能・態度を身につけることをねらいとする。								
キーワード	医療機関、介護保険、サービス、請求事務、福祉ビジネス								
テキスト・ 参考書等	インターンシップ手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみや福祉ビジネスなどを理解する。								
LO-2	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応、福祉ビジネスに必要な技能を理解している。								
LO-3	医療・介護の事務組織の役割や福祉ビジネスについて考察することができる。								
LO-4	実習目的を自覚して意欲的に行動できる。計画的に取り組むことができる。マナーをきちんと守り、明るく、身だしなみを整えて行動することができる								
LO-5	医療機関、介護保険施設・事業所、福祉ビジネス企業と多職種との連携・協働のあり方を理解できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			20		20				40
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					30				30
LO-5			10						10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	医療事務の流れや受付業務、医療請求事務のしくみなどを理解できる。 ・窓口業務の実際（外来業務、入院業務、会計業務の実際） ・診療録の作成や取扱い	
	【予習】医療事務概論のテキストの該当項目を読んでくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る	60分
第2回	医療事務の流れや受付業務、医療請求事務のしくみなどを理解できる。 ・窓口業務の実際（外来業務、入院業務、会計業務の実際） ・診療録の作成や取扱い	
	【予習】医療事務概論テキストの該当箇所を読んでくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第3回	介護保険事務の流れや受付業務、介護請求事務のしくみを理解できる。	
	【予習】介護保険制度のサービス内容を調べてくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第4回	福祉ビジネス分野の多様なサービスを理解する 福祉用具、販売事業 サービス付高齢者住宅	
	【予習】介護保険制度における福祉用具貸与・購入について調べてくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第5回	(1) インターンシップで観察・体験したことをワークシートにまとめる。 (2) 観察・体験したことを発表・意見交換することで、学びを共有する。	
	【予習】4日間の見学体験したことを振り返る。	60分
	【復習】インターンシップ全体を通して、学んだことをまとめる。	60分
第6回	インターンシップ報告書作成のための基礎資料をまとめる	
	【予習】基礎資料を作成してくる	60分
	【復習】基礎資料の見直しを行う。	60分
第7回	インターンシップ報告書作成のための基礎資料をまとめる	
	【予習】基礎資料を作成してくる	60分
	【復習】基礎資料の見直しを行う	60分
第8回	インターンシップ報告書作成のための基礎資料をまとめる	
	【予習】基礎資料を作成してくる	60分
	【復習】基礎資料の見直しを行う	60分
第9回	インターンシップ報告書作成のための基礎資料をまとめる	
	【予習】基礎資料の作成をしてくる	60分
	【復習】基礎資料の見直しを行う	60分
第10回	インターンシップ報告書作成	
	【予習】インターンシップを振り返る	60分
	【復習】報告書としての体裁を整える	60分

第11回	インターンシップ報告書作成	
	【予習】インターンシップを振り返る	60分
	【復習】報告書の体裁を整える	60分
第12回	インターンシップ報告書の作成	
	【予習】インターンシップを振り返る	60分
	【復習】報告書としての体裁を整える	60分
第13回	インターンシップ報告会	
	【予習】発表の練習	60分
	【復習】発表内容の振り返り	60分
第14回	インターンシップ報告会	
	【予習】発表の練習	60分
	【復習】発表の振り返り	60分
第15回	インターンシップ報告会	
	【予習】発表の練習	60分
	【復習】振り返り	60分

授業科目名	介護事務概論			科目コード	W131-30				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護事務演習					
関連科目	医療事務概論、医療事務演習、福祉ビジネス、介護福祉経営論								
資格等 取得との関連	ケアクラーク技能認定試験、介護福祉経営士2級								
授業の概要	介護福祉に関する組織の中で働く意義、役割を理解し、介護福祉に従事する責務と倫理、介護保険法、老人福祉法に関する法規、規則についての基礎知識を習得する。介護保険制度のしくみやサービス利用、介護給付費の請求に関する知識および技術を習得する。								
学習目標	介護保険制度における介護サービス利用の流れとサービスの種類について説明できる。介護報酬の基本構造およびサービス費用の算定方法を説明できる。介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる。ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。								
キーワード	介護保険制度、介護事務、介護報酬								
テキスト・ 参考書等	授業時に資料等を配布								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの種類、介護報酬の基本知識を身につけている。								
LO-2	介護報酬の算定方法の仕組みを説明することができ、介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる基礎力を身につけている。								
LO-3	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ケアクラーク取得に関するガイダンス	
	【予習】ケアクラークの資格について調査してくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第2回	経営の視点から介護サービスを捉える	
	【予習】"制度ビジネス"について調査してくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第3回	介護サービスを経営の視点から捉える	
	【予習】配布教材の「介護保険と高齢者福祉の手引き」を読んでくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第4回	介護サービスを経営の視点から捉える	
	【予習】配布した教材「介護保険と高齢者福祉の手引き」を読んでくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第5回	介護報酬の仕組みの理解（介護報酬とは、介護報酬の算定構造 ～ 、介護報酬改定の流れ）	
	【予習】教材「介護報酬の仕組みの理解」を読んで、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第6回	介護報酬の仕組みの理解（介護報酬とは、介護報酬の算定構造 ～ 、介護報酬改定の流れ）	
	【予習】教材「介護報酬の仕組みの理解」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第7回	介護報酬の請求の流れ（契約、介護報酬の請求 から ）	
	【予習】教材「介護報酬の請求の流れ」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第8回	介護報酬の請求の流れ（契約、介護報酬の請求 から ）	
	【予習】教材「介護報酬の請求の流れ」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分

授業科目名	介護事務演習			科目コード	W131-31					
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	松島 紘子 小平 達夫							
実務経験										
開講時期	1年後期	授業の方法	演習							
必修・選択	選択	単位数	1単位							
前提科目(知識)		後継科目	福祉ビジネス、介護福祉経営論							
関連科目	介護事務概論、福祉ビジネス、介護福祉経営論									
資格等 取得との関連	ケアクラーク技能認定試験									
授業の概要	介護報酬請求の仕組みと算定方法を基礎から学習し、報酬明細書(レセプト)の書き方、制度の理解とその運用について習得を図る。									
学習目標	ケアプランの記載事項を把握できるようにする。 ケアプランから介護報酬明細書(レセプト)が作成できるようにする。									
キーワード	介護事務、レセプト、介護報酬(加算・減算含む)									
テキスト・ 参考書等	介護事務講座 介護保険請求事務テキスト1 社会福祉と人間関係テキスト2 介護保険請求実務別冊(ニチイ学館)配布資料									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果									
LO-1	介護事務に必要な介護報酬の知識を身につけている。									
LO-2	窓口対応に必要な接遇や介護報酬請求業務に必要な技術を身につけている。									
LO-3	多職種連携チームの一員として、介護経営の視点から介護報酬について考える力を身につけている。									
LO-4	介護業界の動向に関心を向け、主体的に学び続けることができる。									
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。									
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計	
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C		
総合評価(割合)	75					25			100	
LO-1	15					5			20	
LO-2	15					5			20	
LO-3	15					5			20	
LO-4	15					5			20	
LO-5	15					5			20	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点(授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート)より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護保険制度(1)介護保険法(2)介護保険制度の仕組み(3)要介護認定から介護サービス計画書の作成まで(4)介護支援専門員(5)予防給付費・介護給付費の算定	
	【予習】介護保険制度について理解してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第2回	介護事務業務(1)介護事務職員の役割(2)介護報酬請求業務(3)指定申請事務(4)介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱い	
	【予習】介護事務について理解してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第3回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付費の理解 訪問介護・訪問入浴・訪問看護	
	【予習】訪問介護、訪問入浴、訪問看護のサービスの内容について調べておく	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第4回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成通所介護、通所リハビリ	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】復習を行う。	45分
第5回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成通所介護、通所リハビリ、訪問介護 短期入所生活介護、福祉用具貸与、居宅介護支援	
	【予習】復習の内容を確認しておく。介護保険施設について概要を理解しておく。	45分
	【復習】解答例を確認する。通所介護 通所リハビリ 訪問介護 基礎問題集 p12～P16居宅介護支援まで これまでにやっていない明細書問題(訪問入浴や訪問看護)をやる。	45分
第6回	介護報酬請求事務 施設サービス等介護給付費明細書の作成 介護福祉施設 介護老人保健施設	
	【予習】復習内容の確認を行う。介護保険施設について理解しておく。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第7回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第8回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第9回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第10回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

第11回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第12回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第13回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。山里・板倉問題見直し、解答訂正山里・板倉問題解答訂正	45分
第14回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第15回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】本日資料（注意点）授業内容の振り返りをする。	45分

授業科目名	キャリアデザイン演習			科目コード	W141-20				
科目区分	専門科目 - キャリア支援	担当教員名	小平 達夫 関 好博 井上 理絵						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	職業人として知識・技術・熱意の3条件が必要です。知識については、社会経験で培われた実践的	後継科目	なし						
関連科目									
資格等 取得との関連	卒業要件に係る資格取得全て								
授業の概要	自分は何をしたいのか、どのような仕事をしたいのか、将来なりたい自分に向けてキャリアプランを描きます。また、仕事をするうえで必要な社会人基礎力を理解し、社会での活用を目指す。また自分のキャリア形成の幅を広げるために社会福祉分野、介護分野、ビジネス分野より自分の進路を考える。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の将来設計（ライフプラン）を考え、明らかにする。 2. 自分自身を分析し、特別講座をとおして、自分に適した仕事・職場を見つける。 3. 社会人としてのマナーを身につける。 4. 学び続ける姿勢を持ち続ける。 								
キーワード	社会人基礎力、キャリアプラン、接遇、人間関係、キャリア形成								
テキスト・ 参考書等	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会人としての一般的常識、ルール・マナー等に関する社会人基礎力身につけている。								
LO-2	自分の人生を主体的に捉え、自己実現に向けた表現力を身につけている。								
LO-3	自分人の人生を主体的に捉え、自身の思考力、判断力をもって自分のキャリア形成を行う力を身につけている。								
LO-4	自分人の人生を主体的に捉え、自身のキャリア形成に対して意欲をもって学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75		15			25			115
LO-1	15		15			5			35
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（介護福祉士資格について多方面により考える）介護福祉士での世界での活躍の場においてベトナムの事例から考える。また、外国人介護士との協働について考える。	
	【予習】各種媒体にて、社会で求められる人材について調査する。	30分
	【復習】今後社会で求められる人材について、再度理解を深め、日常生活の中で実践する。	30分
第2回	キャリアと仕事へのアプローチ（働く意識・仕事への取り組み方・会社の基本とルール）と仕事の基本となる8つの意識（顧客意識・品質意識・納期意識・時間意識・目標意識・協調意識・改善意識・コスト意識）コミュニケーションとビジネスマナーの基本と指示の受け方と報告・連絡・相談	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第3回	話し方と聞き方のポイントと来客対応と訪問の基本マナー	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第4回	会社関係でのお付き合い等	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第5回	仕事への取り組み方	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第6回	ビジネス文書の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第7回	電話応対	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第8回	統計・データの読み方・まとめ方	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第9回	情報収集とメディアの活用	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第10回	会社を取り巻く環境と経済の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分

第11回	特別講座 学科長講話	
	【予習】自分の興味のある進路先及びその業界について調査してくる。	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第12回	特別講座 福祉分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第13回	特別講座 介護分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第14回	特別講座 福祉ビジネス分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業の振り返りをしてくる。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分

授業科目名	総合的研究			科目コード	W151-10				
科目区分	専門科目 - 総合支援 - 研究		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	1年後期・2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	短期大学士（介護福祉学）								
授業の概要	社会福祉、介護福祉および生活福祉についての2年間の学習の中で、各自が触発されたテーマについて、より深く掘り下げた主体的調査研究としておこなうものです。各テーマの専門ごとに専任教員全員が分担して、個別的・継続的に指導し、研究成果をレポートにまとめ、報告会で発表します。								
学習目標	介護福祉専門職として必要な研究態度や自己研鑽・自己啓発の能力を養うこと目的としています。また、高齢者や障害者の介護や、介護福祉士としてのあり方について理解を深めてもらうことを目標としています。								
キーワード	主体的、調査、社会福祉、介護福祉、生活福祉								
テキスト・ 参考書等	総合的研究報告集バックナンバー(学内専用)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の多様な価値観、社会のしくみ、文化を理解し、幅広い教養を習得している。また、社会概念の基礎を理解し、介護実践に必要な専門的知識を習得している。								
LO-2	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法を身につけている。								
LO-3	福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる。								
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに関心を持ち、自己研鑽・自己啓発能力を身につけている。また、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				80	10	10			100
LO-1				20					20
LO-2				10	10				20
LO-3				20					20
LO-4				20					20
LO-5				10		10			20
備考	その他Aは、研究を進める際の研究グループ内での協調・協働を評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	全体オリエンテーション(科目の概要説明、グループ分け)	
	【予習】なし	0分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(1)	45分
第2回	分野別オリエンテーション(授業の年間計画の説明、グループ分けの再確認)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(2)	45分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(3)	45分
第3回	研究テーマの確定1(分野ごとに希望研究テーマの内容を確認)	
	【予習】研究テーマを考える	45分
	【復習】研究テーマを考える	30分
第4回	研究テーマの確定2(リーダー、サブリーダー選出、研究テーマとグループを確定)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(4) 研究テーマの深化	45分
	【復習】研究の動機、目的をまとめる	30分
第5回	研究テーマの確定3(研究テーマとグループの全体調整)	
	【予習】研究の動機、目的をまとめる	30分
	【復習】研究計画の立案準備	45分
第6回	調査研究の方法1(調査方法及びレポート構成の指導・講義)	
	【予習】研究手法について予習する	30分
	【復習】調査方法及びレポート構成を理解する	45分
第7回	調査研究の方法2(グループ別文献検索指導)	
	【予習】文献検索するキーワードについて予習する	30分
	【復習】文献検索の方法に習熟する	45分
第8回	研究計画の立案1(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】研究計画を構想する1	30分
	【復習】研究計画の作成1	45分
第9回	研究計画の立案2(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】研究計画を構想する2	30分
	【復習】研究計画の作成2	45分
第10回	調査の準備と実施1(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分

第11回	調査の準備と実施2(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分
第12回	調査の準備と実施3(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分
第13回	中間まとめの準備1(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】ポスター作製	45分
第14回	中間まとめの準備2(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】ポスター作製	45分
第15回	中間まとめの準備3(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】中間まとめの資料作成	45分
	【復習】中間まとめの資料作成	30分
第16回	中間まとめ	
	【予習】中間まとめの資料作成	45分
	【復習】中間まとめの資料作成	30分
第17回	中間発表の準備1(調査結果の整理と考察)	
	【予習】調査結果の整理	30分
	【復習】調査結果の整理と考察	45分
第18回	中間発表の準備2(調査結果の整理と考察)	
	【予習】調査結果の整理	30分
	【復習】調査結果の整理と考察	45分
第19回	中間発表の準備3(調査結果の整理と考察)	
	【予習】調査結果の整理	30分
	【復習】調査結果の整理と考察	45分
第20回	結果の整理と考察(調査結果の整理と考察、追加調査の実施など)	
	【予習】調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	30分
	【復習】調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	45分

第21回	記録集の作成 (作成準備ならびに執筆開始)	
	【予習】記録集作成準備ならびに執筆	30分
	【復習】記録集作成準備ならびに執筆	45分
第22回	原稿提出 (完成原稿とデータを提出)	
	【予習】記録集作成準備ならびに執筆	45分
	【復習】記録集作成準備ならびに執筆	30分
第23回	原稿の校正1	
	【予習】1校の校正	30分
	【復習】1校の完了	45分
第24回	原稿の校正2	
	【予習】2校の校正	30分
	【復習】2校の完了	45分
第25回	原稿の校正3	
	【予習】3校の校正	30分
	【復習】3校の完了	45分
第26回	原稿の校正4	
	【予習】4校の校正	30分
	【復習】4校の完了	45分
第27回	発表会の準備1 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】発表原稿の準備	30分
	【復習】発表の練習	45分
第28回	発表会の準備2 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】発表の練習	30分
	【復習】発表の練習	45分
第29回	発表会リハーサル	
	【予習】発表の練習	30分
	【復習】リハーサルの総括、発表原稿などの改善	30分
第30回	発表会(口頭発表)	
	【予習】発表の練習	45分
	【復習】発表の振り返り	30分

授業科目名	健康福祉論			科目コード	W511-10				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉等）として保健所、保健福祉センター、長寿福祉課等に勤務し、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	運動と健康		後継科目	アクティビティ概論					
関連科目	健康スポーツ、こころとからだのしくみ ～、障害者ケア論・、認知症ケア論・								
資格等 取得との関連	資格取得に直接的に必要な科目ではないが、基礎となる科目である。								
授業の概要	健康とは何か、そして福祉との関わりとともに、健康支援・介護予防を中心とした福祉の隣接領域とのつながりと福祉・介護の現場や地域の実践的な入口を学ぶ科目です。								
学習目標	健康とは何かを考え、自分の言葉で述べることができる。								
キーワード	健康、well-being、ポジティブヘルス、ギャラップ								
テキスト・ 参考書等	なし。適宜プリントを配布予定。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	すべての人が健康で幸せな毎日をおくるための基礎的知識が十分ある。								
LO-2	すべての人が健康で幸せな毎日をおくるための基礎的技術が十分ある。								
LO-3	病気や障害、生きづらさを抱えた人が健康で幸せな毎日を送るための思考力、判断力が十分ある。								
LO-4	人や社会の動きに関心を持ち、人の健康と幸せについて主体的に学ぶ意欲が十分ある。								
LO-5	誰一人取り残すことなく人を温かく包み込む人間性・社会性が十分ある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			50			100
LO-1			10			10			20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他Aは授業でのグループワークや個人ワーク								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	健康とは何か	
	【予習】健康の定義について調べておく	90分
	【復習】健康とは何か、授業を振り返り、自分の言葉でまとめる	90分
第2回	SDGs目標3 すべての人に健康と福祉を	
	【予習】すべての人に健康と福祉をとはどういう意味か、世界の課題を調べてくる、	90分
	【復習】すべての人の健康と福祉を実現するための方法を考える	90分
第3回	ポジティブヘルス	
	【予習】オランダで生まれたポジティブヘルスについて調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返りノートをまとめる	90分
第4回	well-beingとは何か、well-beingが叫ばれる理由、well-beingの指標	
	【予習】well-beingについて調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返りノートをまとめる	90分
第5回	人とのつながり、ネットワークと健康	
	【予習】つながることの効用を調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返りノートをまとめる	90分
第6回	ライフサイクルと健康、災害、感染症、環境と健康	
	【予習】災害、感染症と健康について調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返りノートをまとめる	90分
第7回	健康日本21、保健医療2035、ムーンショット研究プロジェクト	
	【予習】健康日本21について調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返りノートをまとめる	90分
第8回	健康と幸せと福祉、社会的包摂	
	【予習】健康と幸せと福祉、社会的包摂について調べてくる	90分
	【復習】健康と幸せと福祉についてまとめる	90分

授業科目名	運動と健康			科目コード	W511-20				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	アクティビティ概論					
関連科目	健康スポーツ								
資格等 取得との関連	公認初級パラスポーツ指導員 ウォーキングトレーナー								
授業の概要	学生生活を通し健康・体力を維持するための基礎理論と関わる諸問題について学ぶ。また、健康支援や介護予防、地域社会など広く活用できる運動やスポーツについて学ぶ。								
学習目標	学生生活の健康課題、生活習慣病や地域社会、介護予防に関わる基礎的な事項として運動・身体活動の重要性を理解する。また、健康・福祉・介護・地域社会に向けた運動やスポーツの状況について把握する。								
キーワード	運動、体力、スポーツ、健康、健康体操プログラム								
テキスト・ 参考書等	ウォーキングトレーナー養成講習会テキスト(第6版)、メディカル・フィットネス協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】健康・体力を維持するための運動やスポーツの必要性を理解している。目的にあわせた健康・体力づくりの理論と方法について理解している。								
LO-2	【技能】個人の健康・体力づくりに必要な情報を適切に評価し、自らの健康・体力づくりを行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】現代的なスポーツ・健康に関する問題を捉え、その実践的な問題解決の方法を主に身体活動・運動の視点から考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分のコンディションについての関心を高めさらに維持・向上させようとすることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループでのディスカッションなど仲間と共に活動することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		70				30			100
LO-1		20							20
LO-2		30							30
LO-3		20							20
LO-4						15			15
LO-5						15			15
備考	小テストを行う。ミニツペーパーより質問等に答える。 その他：A LO-4・LO-5 課題への取組による関心度から考慮する。授業態度(グループへの関与)の参加度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、地域の健康運動、スポーツと資格制度 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】授業の概要、評価方法、を整理しておく 配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第2回	スポーツに求められるもの - インテグリティ、スポーツマンシップ - 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第3回	多様なスポーツ、運動の価値を考える 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第4回	体力とは何か、体カトレーニング	
	【予習】配布資料、テキストを読んでおく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第5回	筋収縮の種類とエネルギー代謝の経路	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第6回	歩行と有酸素運動 - 自分に合った運動強度 - ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】配布資料、テキストを読んでおく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第7回	まとめと確認ワーク	
	【予習】これまでのメモや資料を整理しておく	45分
	【復習】振り返り、資料と照合しておく	45分
第8回	運動・福祉施設による安全管理 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分

授業科目名	健康スポーツ			科目コード	W511-21				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	無し		後継科目	アクティビティ概論					
関連科目	運動と健康								
資格等 取得との関連	公認初級パラスポーツ指導員 ウォーキングトレーナー								
授業の概要	各自が生涯にわたり身体を動かすことを楽しみ、学生生活をより健康に生活できるようになるための授業を行う。授業はレクリエーションやパラスポーツを中心に行い、ストレッチやヨガを実践し心地よさを感じるようなプログラムを行なう。さらに学外においてウォーキングの実施、パラスポーツ大会での交流を通し資格取得をめざす。								
学習目標	スポーツやそのほかの運動を通じて、楽しさや体を動かす心地よさを感じられるようにする。スポーツや運動を授業だけではなく学生時代の一部として取り入れ、生涯の健康づくりに運動を嗜む意識を身に付けましょう。								
キーワード	心地よさ 運動の機会 健康づくり レクリエーション パラスポーツ ウォーキング								
テキスト・ 参考書等	ウォーキングトレーナー養成講習会テキスト(第6版)、メディカル・フィットネス協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】健康が活動の土台であることを理解し、自ら健康の維持・向上に努めようとする。身体への適切な負荷のかけ方や自身の身体への対話方法を見つけるように努める。								
LO-2	【技能】ボールや用具の使い方において基本的な技術を身につける。自分に合った運動強度を知りその維持・向上に努める。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】チームプレーでの課題を見出しその解決に努められるようにする。苦手な運動要素についてその課題を克服できるような方法を知る。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分の身体を知り維持・向上させることにより自己肯定感が高まる。仲間とともに活動することにより互いを認め合い粘り強く取り組めるようになる。								
LO-5	【人間性・社会性】健全な友達関係を構築し、その他の授業においても互いに尊重し合う活動できるようにする。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						10			10
LO-2						50			50
LO-3						5			5
LO-4						5			5
LO-5						30			30
備考	その他Aについて：LO1.5は、ミニツツペーパー及び活動の状況を見て総合的に判断する。LO3.4は、チームプレーでの勝敗や活動の主体性を見て判断する。LO2は、ボール操作技術、基礎的な運動についての能力向上の状態を見て評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、ストレッチングの導入、レクワーク ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】内履きシューズ、運動着を準備しておく。コンディションを整えておく	20分
	【復習】学生のしおりとシラバスを確認する	25分
第2回	ソフトバレーボール(1)	
	【予習】チームを作るので、メンバーを確認しておくこと	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第3回	ソフトバレーボール(2)	
	【予習】チーム対抗戦の実施予定 ルールの確認をしておく	20分
	【復習】チームのメンバーと次回に向けたミニ・ミーティングをし、各班でメモをし共有する。	25分
第4回	ラダーゲッター 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】水分を補給し、熱中症の予防と疲労回復に努める	25分
第5回	ヨガ教室	
	【予習】ヨガの目的と効果について調べておく。ヨガマットまたは身長大のバスタオルを準備する。	20分
	【復習】インストラクターよりの説明をノートに整理する。ポーズを自宅で復習する。	25分
第6回	障害のある人とのバラスポーツ交流(1) - 障害者スポーツ大会での運営を通して - 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】大会の行程や開催場所を調べておく	20分
	【復習】どのようなアスリートが参加していたか、運営スタッフとの関わりなど振り返る。	25分
第7回	障害のある人とのバラスポーツ交流(2) - 障害者スポーツ大会での運営を通して - 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】6回目と同じ	20分
	【復習】6回目と同じ	25分
第8回	ウォーキング(1) - 歩き方と運動強度 - ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第9回	ウォーキング(2) - ノルディックウォーキング - ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】8回目と同じ	20分
	【復習】8回目と同じ	25分
第10回	キンボール	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】水分を補給し、熱中症の予防と疲労回復に努める	25分

第11回	バドミントン(1) 基本の打ち方 ゲーム(ダブルス)の進め方の確認と練習	
	【予習】バドミントンについて興味をもって技術練習やゲーム方法を調べる	20分
	【復習】ルール、試合の進行、コートの準備片付けを整理しておく	25分
第12回	バドミントン(2) ゲーム(ダブルス)の実践	
	【予習】様々な打ち方とその方法を調べておく。	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第13回	ショート・テニス/フレッシュ・テニス(1)	
	【予習】基本の打ち方と試合方法を整理・練習しておく	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第14回	ショート・テニス/フレッシュ・テニス(2)	
	【予習】グループ対抗戦のため、チームメンバーを確認しておくこと	20分
	【復習】授業全体を振り返り、自身の日常に活用/応用できるスポーツ活動を考える	25分
第15回	ボッチャ 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】水分を補給し、熱中症の予防と疲労回復に努める	25分

授業科目名	コミュニケーション論			科目コード	W521-20				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	チームマネジメントの基礎					
関連科目	コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士指定科目								
授業の概要	自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。								
学習目標	対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する。								
キーワード	自己覚知、他者理解、ラポール、自己開示、パーソナリティ、グループダイナミックス、アサーティブネス、ポライトネス、パーソナルスペース、バリエーションの原則、マイクロカウンセリング、感情の転移、容、共感、傾聴、言語的コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 1 人間の理解								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解できている。								
LO-2	【技能】コミュニケーション技法の基礎を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力等を備えている。								
LO-4	【関心・意欲・態度】対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につけることへ関心や意欲を有している。								
LO-5	【人間性・社会性】福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間の尊厳と利用者主体、人権思想の潮流とその具現化、人権や尊厳に関する日本の諸規定等	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第2回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷、社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷等	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第3回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷、人権尊重と権利擁護	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第4回	自立の概念の多様性、自立とは	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第5回	対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第6回	介護を必要とする人の自立と自立支援	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第7回	介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係、人間の誕生と介護の関係、自分と他者の理解	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第8回	自分と他者の理解、発達心理学から見た人間関係	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第9回	社会心理学からみた人間関係	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第10回	人間関係とストレス	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分

第11回	コミュニケーションの概念、コミュニケーションの基本概念、コミュニケーションの基本構造、コミュニケーションの手段	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第12回	コミュニケーションの手段	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第13回	対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション、対人援助における基本的態度	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第14回	援助的人間関係の形成とバイツテックの7つの原則	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第15回	組織におけるコミュニケーション	
	【予習】これまでの授業をふり返ってくる。	90分
	【復習】ノートの整理をとおして授業で学んだことをまとめる。	90分

授業科目名	チームマネジメントの基礎			科目コード	W521-21				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	コミュニケーション論		後継科目						
関連科目	コミュニケーション論、コミュニケーション技術I、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	ヒューマンサービスとしての介護サービスの特徴を踏まえ、チーム運営の基本や人材育成の管理法の基礎を学ぶ。								
学習目標	介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。								
キーワード	チームマネジメント、リーダーシップ、フォロワーシップ、キャリア形成、キャリア開発、組織運営、組織管理								
テキスト・ 参考書等	人間の理解（中央法規）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	チームマネジメントの概念の理解と実践のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケーションの定義・環境・技法の知識を身につけている。								
LO-2	チームマネジメントに対し、基礎的な運営するための技術・技能を身につけている。								
LO-3	チームマネジメントを通して課題を解決するための思考力・判断力を身につけている。								
LO-4	リーダーシップを発揮するために主体的に継続的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感することができる。多様な主体と連携・協調できる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護サービスの特性と求められるマネジメント（介護サービスと他サービスとの相違点）	
	【予習】マネジメントについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第2回	組織と運営管理（福祉サービスの組織の機能と役割、組織の構造と管理、コンプライアンスの遵守）	
	【予習】コンプライアンスについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第3回	チーム運営の基本（チームの機能と構成、リーダーシップ・フォロワーシップ、リーダーの機能と役割、業務課題の発見と解決の過程）	
	【予習】リーダーシップとフォロワーシップについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第4回	人材の育成と管理（人材育成の方法系、モチベーションマネジメント）	
	【予習】モチベーションと職務満足について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第5回	ヒューマンサービスとしての介護サービス	
	【予習】介護サービスのヒューマンサービスについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第6回	介護現場で求められるチームマネジメント、介護実践におけるチームマネジメントの取り組み	
	【予習】多職種連携について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第7回	ケアを展開するために必要なチームとその取り組み	
	【予習】介護現場での考えられる職種について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第8回	チームでケアを展開するためのマネジメント	
	【予習】多職種の職種と役割について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第9回	チームの力を最大化するためのマネジメント	
	【予習】リーダーシップの種類について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第10回	介護福祉職のキャリアと求められる実践力	
	【予習】キャリアの定義について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

第11回	介護福祉職としてのキャリアデザイン	
	【予習】自己啓発について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第12回	介護福祉職のキャリア支援・開発	
	【予習】自分のキャリア・職業人生について考えてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第13回	介護サービスを支える組織の構造	
	【予習】報告・連絡・相談の機能について考えてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第14回	介護サービスを支える組織の機能と役割	
	【予習】組織の階層構造、職種・職位、組織図について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第15回	介護サービスを支える組織の管理	
	【予習】介護現場での委員会と労務管理について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

授業科目名	情報処理演習			科目コード	W521-31				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	日本語文書処理演習		後継科目	日本語文書処理演習					
関連科目									
資格等 取得との関連	上級ビジネス実務士() ビジネス実務士() 上級情報処理士() 情報処理士() 日商PC検定(文書作成)2級試験								
授業の概要	効果的なビジネス文書について学ぶ。前期での実践的な技能をさらにスキルアップするとともに、企業でのITを利活用できるように応用力を養う。なお、日商PC検定文書作成3級を目指す。								
学習目標	適切なビジネス文書を適切に発信していく技術は、ビジネスパーソンにとって必須であることを理解するとともに、情報を正確に伝える・記録として残すのに必要な文書作成の基本的知識・技術の習得を目標とする。								
キーワード	word、文章作成・編集、表作成、図作成、クリップアート、ワードアート、スマートアート								
テキスト・ 参考書等	よくわかるマスター 日商PC検定試験 文書作成 3級 公式テキスト&問題集 Word 2019/2016対応 (FOM出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	Word2016を利用し、目的にあった文書作成と高品質なデザインのビジネス文書作成ができる。								
LO-2									
LO-3	Wordを用いた基本的なビジネス文書を作成することができる。								
LO-4	積極的な学習態度がみられ、予習・復習をしっかりと行うことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3	10								10
LO-4	10								10
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日商PC3級 文書作成とはどんな試験か	
	【予習】教科書付録「日商PC検定試験の概要」を読んでおく	20分
	【復習】教科書の「日商PC検定試験の概要」を読む	25分
第2回	ビジネス文書 文書の有用性/ビジネス文書の基本/社内文書 タッチタイピングの練習 https://toyama-c-kf.edclub.com/	
	【予習】教科書の該当部分について復習する。 7月26日までにタッチタイピングの練習を Lesson 126 まで終了する。	20分
	【復習】教科書の該当部分について復習する。	25分
第3回	ビジネス文書 - 社外文書 基本的なビジネス文書の作成 - 作成する文書の確認 / 文章の入力	
	【予習】教科書第1章 社外文書の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第4回	第1章 確認問題 ビジネス文書のライティング技術 - 日本語の基本 基本的なビジネス文書の作成 - 文書の編集 / 文字の配置 / 文字の装飾 / 文書の保存	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第5回	ビジネス文書のライティング技術 - 文章表現の基本 基本的なビジネス文書の作成 - 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第6回	ビジネス文書のライティング技術 - 文章表現の応用 / 文章構成 表のあるビジネス文書の作成 - 表の作成 / 表のレイアウトの変更 / 表の書式設定	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第7回	ビジネス文書のライティング技術 - 敬語 / 確認問題(P.79) ビジネス文書 - 確認問題(P.79) 表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題	25分
第8回	表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題(解説) 電子メールのライティング技術 - 電子メールの基本 / 文例とポイント / 確認問題 図形のあるビジネス文書の作成	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第9回	ビジネス図解の基本 - 図解とは / 図解の基本パターン / 図解の作成方法 / グラフの利用 / 確認問題 図形のあるビジネス文書の作成 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第10回	ビジネス文書の管理 - 文書管理の基本 / 文書のライフサイクルと各プロセスの役割 / 確認問題 模擬試験第1回 実技科目	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分

第11回	模擬試験第1回 知識科目 模擬試験第2回 実技科目	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第12回	模擬試験第2回 知識科目 模擬試験第3回 実技科目	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第13回	模擬試験第3回 知識科目 日商PC模擬試験（実技） 必要ならダウンロード: 商工会議所 ネット試験システム.exe	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】模擬試験の復習	25分
第14回	日商PC模擬試験（実技）	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】模擬試験の復習	25分
第15回	日商PC検定試験 文書作成3級解説	
	【予習】第1章から第8章・模擬試験1～3までを見直す	20分
	【復習】試験結果の反省 レポート課題指示 文書ファイル(Word) 四季の幕の内弁当試食会	25分

授業科目名	情報処理演習			科目コード	W521-32				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活と情報		後継科目						
関連科目	医療・福祉とICT								
資格等 取得との関連									
授業の概要	効果的なデータの活用について学びます。生活と情報で学んだ表計算の基礎を発展させ、福祉施設や企業でのデータ数値の分析をできるよう応用力を養います。なお、日商PC検定データ活用3級の資格取得を目指す。								
学習目標	日商PC検定データ活用3級は、売上などの粗(RAW)データから商品や支店ごとの単純集計や、ピボットテーブルを使ったクロス集計が出題されます。本演習では、日商PC検定データ活用3級資格取得に足るデータ活用能力を身につけることを目標とします。								
キーワード	パソコン、表計算、単純集計、クロス集計、データ分析								
テキスト・ 参考書等	よくわかるマスター 日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト & 問題集 Excel 2019/2016対応 (FOM出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する応用知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 日商PC 3級の問題(文書作成・データ活用)の問題を解いてみる	
	【予習】	0分
	【復習】学習ファイル(fpt2011.zip)をダウンロードし、解凍しておく。 わからなかったところを調べてみる・難しかったところを復習する。	45分
第2回	取引の仕組みと業務の流れ(1) 取引の仕組み	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第3回	取引の仕組みと業務の流れ(2) 業務の流れ 確認問題	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第4回	取引の仕組みと業務の流れ(3) 取引で使用する書類	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	取引の仕組みと業務の流れ(4) 財務諸表	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第6回	業務に応じた計算・集計処理(1) 基本的な計算処理 業務で使用する計算処理	
	【予習】教科書の該当部分を予習する 前回来まで	45分
	【復習】	0分
第7回	業務に応じた計算・集計処理(2) 業務で使用する集計処理	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第8回	業務データの管理	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第9回	表の作成(1) データ入力 / 書式設定 / 表示形式	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第10回	表の作成(2) 相対参照と絶対参照 票の編集	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分

第11回	表の作成・確認問題	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	15分
	【復習】確認問題	30分
第12回	データの集計	
	【予習】第3章確認問題	0分
	【復習】確認問題	45分
第13回	グラフの作成	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第14回	模擬試験（第1回） 知識問題回答フォーム	
	【予習】	0分
	【復習】模擬試験（第2回）	45分
第15回	日商ネット模擬試験 もし「商工会議所ネット試験システム」（オレンジ色のアイコン）を持っていないければ、ダウンロードしておくこと。 ダウンロード	
	【予習】	0分
	【復習】模擬試験（第1回～第3回）の復習	45分

授業科目名	ボランティア演習			科目コード	W521-40				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	社会保障論、高齢者福祉論、障害者福祉論、地域福祉論								
資格等 取得との関連									
授業の概要	テキストを毎回一章ごと進めていきながら、解説の後に演習をおこない、学習を深められるようにしていきます。演習では全員に意見や考えの発表を求めます。学校休業日におけるボランティア体験を、Web「ボランティア手帳」を活用しながら、後期末となる1月末までに1回以上参加して、感想をレポートにまとめることも課題とします。(感染症の拡大状況によっては課題を変更します)								
学習目標	ボランティア全般について学ぶとともに、ボランティア体験学習を通じて市民としての生き方について考え、現代社会の問題解決力と社会を見つめる感性を高めることをねらいとします。								
キーワード	ボランティアコーディネーター、企業の社会貢献活動、災害救援ボランティア、福祉教育、施設ボランティア								
テキスト・ 参考書等	「初めて学ぶ地域ボランティア活動」小倉常明・松藤和生 著 KT福祉研究所								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ボランティア活動の理念や法制度、社会の変化とこれまでの動き、そしてこれからのあり方などを理解するとともに、関係機関の働きや私たちがなすべきことなどについて、理解することができる。								
LO-2	ボランティア活動の場面で相手の自立支援に向けた関わり方をするための技術や技能を身につけている。								
LO-3	ボランティアとはどういう行為なのか考え、その場にふさわしい行動をとれる。また、言葉でも表現できる。								
LO-4	自ら積極的にボランティア活動に関して調べて、自分なりに思いを深めるなどの取組みができています。								
LO-5	市民社会における主体的な取り組みの意義を理解し、多様な活動に共感できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			30						30
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			30			40
LO-5			10						10
備考	成績は、学科で指定するボランティア活動のいずれかに参加して、その感想を提出してもらうことを含めます。指定の活動は別途案内します。併せて、授業で扱った章のいずれかを選んで、自分で掘下げたレポートも出してもらいます。「その他」の評価対象は授業態度です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ボランティア活動の定義や特徴・性格、理念などについて正しく理解する。	
	【予習】テキスト第1章と第2章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】ボランティアという言葉の意味や類似の用語の意味との違いを説明できるようにまとめる。	45分
第2回	ボランティア活動の歴史について理解する。	
	【予習】テキスト第3章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】ボランティアの歴史をまとめておく。	45分
第3回	ボランティア活動の歴史について理解する。	
	【予習】テキスト第3章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】インターネットで日本における篤志家の活動を探し、それぞれの趣旨や目的などを把握しておく。	45分
第4回	ボランティアに関する法と制度を学ぶ。	
	【予習】富山県民ボランティア総合支援センターのホームページで、県内のNPO法人の登録状況を見てくる。	45分
	【復習】ボランティア活動を支援する法と制度をまとめてみる。	45分
第5回	ボランティア活動のさまざまな担い手について理解する。	
	【予習】収集ボランティア活動について調べておく。	45分
	【復習】。ボランティア推進組織について整理しておく	45分
第6回	ボランティア関係機関について理解する。	
	【予習】社会福祉協議会のボランティアセンターについて調べておく。	45分
	【復習】ボランティア推進組織について整理しておく。	45分
第7回	地域社会とボランティア活動について学ぶ。	
	【予習】住んでいるまちの自治会活動における福祉活動を調べておく。	90分
	【復習】自治会が取り組む福祉活動をまとめておく。	90分
第8回	社会福祉施設とボランティア活動について理解する。	
	【予習】自分の住んでいる地域の施設にどのようなボランティアがあるかを確認してくる。	45分
	【復習】施設ボランティアの長所と短所をまとめる。	45分
第9回	障害者スポーツ大会について理解する。地域社会とスポーツにおけるボランティアについて理解する。	
	【予習】地元では、どんな組織や団体で、どんなスポーツボランティアが活動しているかを押さえてくる。	45分
	【復習】身近な地域でのスポーツボランティア活動の様子や障害者スポーツ大会の実際を調べてまとめる。	45分
第10回	災害支援とボランティアの関りを学ぶ	
	【予習】過去の災害時におけるボランティアの存在意義や役割を調べてくる。	45分
	【復習】直近の災害現場で行われているボランティア活動を調べてまとめておく。	45分

第11回	企業の社会貢献活動とボランティアの関りを考える。	
	【予習】経団連のホームページで、大手企業の社会貢献活動の様子を見てくる。	45分
	【復習】社会貢献活動に取り組む企業の様子をまとめておく。	45分
第12回	国際的なボランティア活動について理解する。	
	【予習】県内のNGOについて調べてくる。	45分
	【復習】国際委ボランティア活動について学んだことを整理しておく。	45分
第13回	ボランティアコーディネーターとボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】ボランティアコーディネーターの活動の様子を調べてくる。	45分
	【復習】ボランティアコーディネーターが果たす役割をまとめる。	45分
第14回	有償ボランティア活動について学ぶ。	
	【予習】有償ボランティア活動について、各自で調べてくる。	45分
	【復習】各地の有償ボランティアの様子を整理する。	45分
第15回	これからのボランティア活動について学ぶ。	
	【予習】ボランティアサポーターや福祉教育アドバイザー制度などについて調べてくる。	45分
	【復習】ボランティア活動の可能性についてまとめてみる。	45分

授業科目名	教養演習			科目コード	W521-50				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	総合的研究								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	担当教員ごとに少人数を割り振ってのゼミクラス方式を取り入れての学習を進める。基礎的な学習をまず合同でおこなった後、グループに分かれてそれぞれの設けたテーマでの調査をおこない、その結果をもちよっての発表会を開催する。								
学習目標	学生の自発的・主体的な学習意欲の喚起と、教員やクラスメイトとの交流によるチームワークづくり、さらには短大生として求められる基礎的な国語能力の修得など。								
キーワード	導入教育								
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	大学生としての基礎的な国語能力と調査に関する知識を習得している。								
LO-2	読み書きや聴き話し、さらには人前での発表に関する力を修得している。								
LO-3	聴く、話すの両面において、その場にふさわしい態度で演習課題に取り組める。								
LO-4	学習意欲や向上心を持ち、自主的・主体的調査研究に必要な学習態度を身につける。								
LO-5	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			150			30	20		200
LO-1			75			15	10		100
LO-2			15						15
LO-3						15			15
LO-4			30						30
LO-5			30				10		40
備考	LO-5は担当教員による、発表会までの取り組み方での評価をもとにおこなう。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス（教養演習のテーマとねらい、過去の発表の様子など）	
	【予習】なし	0分
	【復習】本日の過去の教養演習の発表内容を参考にしつつ、自分の発表内容の題材について考える	60分
第2回	これまでの教養演習の成果物を通じて研究について理解する	
	【予習】これまでの教養演習の成果物を読んでおく	45分
	【復習】資料	60分
第3回	これまでの教養演習の成果物を通じて研究について理解し、自分の研究のテーマを考える	
	【予習】自分の研究のテーマを考える	45分
	【復習】資料	60分
第4回	新聞の読み方について学び、自分の興味関心のある記事を見つけ出し次回授業にて発表する	
	【予習】新聞に関心を持ち、記事を読む習慣を身に着ける	30分
	【復習】自分の関心のある記事についてインターネットなどで調査する	60分
第5回	前回の授業を受けて各自が調査した内容を発表し意見交換を行う	
	【予習】各自が調査した内容のプレゼンテーション準備	30分
	【復習】意見交換のまとめ	60分
第6回	各自の興味関心あるテーマについて意見交換し、各自テーマを決定する。	
	【予習】各自の興味関心あるテーマをリストアップする	30分
	【復習】意見交換し、各自テーマを決定する。	60分
第7回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分
第8回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分
第9回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分
第10回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分

第11回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分
第12回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分
第13回	調査結果を基にしたグループ発表	
	【予習】発表の準備	30分
	【復習】発表の振り返り	90分
第14回	調査結果を基にした個人発表	
	【予習】発表の準備	30分
	【復習】発表の振り返り	90分
第15回	グループ毎の振り返りとまとめ	
	【予習】発表の振り返りのプレゼンテーション準備	30分
	【復習】なし	0分

授業科目名	英語			科目コード	W531-10				
科目区分	教養科目 - 外国語		担当教員名	山西 宏明 デイヴィッド・ホーズリー					
実務経験	国際協力機構（JICA）やNGOでの海外駐在経験があり、それらの業務を通じて得られた知識・経験を、英語の授業で還元することを意識して指導を行う。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	キャンパス&ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連									
授業の概要	山西：英語4技能をフルに活用しながら、ケアワーカーに必要な英語を楽しく学びます。 Horsley：Lessons are communicative and student-centered. Students often work in pairs or groups of three. Lessons contain a textbook component and a conversation component. The conversation component is at the end of the class and based on a discussion point presented in the textbook.								
学習目標	山西： Horsley：Students will use the English they have studied to communicate and express themselves with improved intonation and blending skills.								
キーワード	語彙 文法 福祉								
テキスト・ 参考書等	山西/Horsley: A Helping Hand, by Masako Shimizu, NAN'UN-DO Co., Ltd								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】英語の基本的な語彙と表現を修得している。								
LO-2	【技能】短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】英文を読み、自分の考えを英語または日本語で表現することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】日常生活や福祉の分野の英語の基本的な語彙と表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】日常生活や福祉の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20				30	20	30	100
LO-1		10				10		10	30
LO-2		10				10			20
LO-3						10			10
LO-4							10	10	20
LO-5							10	10	20
備考	【授業担当者】前半7回は山西、後半8回はHorsleyが担当します。 【成績評価方法】 山西：第7回の授業時に筆記試験（60% = その他A）を行い、授業での発表・取り組み姿勢・ウェブシラバス記入（40% =								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Unit 1: The Four Keys to Successful Caregiving (前半) 7ページの1 Vocabulary Checkの予習・答え合わせ。6ページに戻り英文和訳をする。構文や難しい表現を黒板に記入します。 授業の進め方の説明。パソコン準備。	
	【予習】7ページの1 Vocabulary Checkの予習・	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第2回	Unit 1: The Four Keys to Successful Caregiving (後半) 前回の授業の復習、P9の単語の練習、P8の対話文の内容の理解と練習	
	【予習】前回の授業の復習	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第3回	Unit 2: Using Mobility and Lifting Aids (前半) Checkの予習・答え合わせ。10ページに戻り英文和訳をする。構文や難しい表現を黒板に記入します。 授パソコン準備。11ページの1 Vocabulary	
	【予習】11ページの1 Vocabulary Checkの予習	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第4回	Unit 2: Using Mobility and Lifting Aids (後半) 前回の授業の復習、P13の単語の練習、P12の対話文の内容の理解と練習	
	【予習】前回の授業の復習	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第5回	Unit 3: Helping People with Meals (前半) Vocabulary Checkの予習・答え合わせ。14ページに戻り英文和訳をする。構文や難しい表現を黒板に記入します。 パソコン準備。15ページの1	
	【予習】15ページの1 Vocabulary Checkの予習	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第6回	Unit 3: Helping People with Meals (後半) 前回の授業の復習、P17の単語の練習、P16の対話文の内容の理解と練習	
	【予習】前回の授業の復習	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第7回	Unit 4: Helping People Use the Toiletと確認テスト (Unit1 - Unit4) 前半はUnit4の単語や重要表現の解説。後半は確認テスト実施。	
	【予習】確認テストに向けた準備	180分
	【復習】筆記試験の見直し	60分
第8回	Unit 5	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第9回	Unit6	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第10回	Unit7	
	【予習】	0分
	【復習】	60分

第11回	Unit8	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第12回	Unit9	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第13回	Unit10	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第14回	Unit11	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第15回	評価テスト	
	【予習】	0分
	【復習】	60分

授業科目名	現代社会と人間			科目コード	X511-10				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文科学系		担当教員名	大森 聡 川口 将史 小平 達夫 山下 裕介 塩見 一成					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	なし								
授業の概要	各学科教員・外部講師が各回の講義を担当し、目的について共通理解を図りつつ、オムニバス形式で開講する。詳細は添付資料を参照のこと。 Webシラバスの毎回の授業アンケートへの入力をもって出席とします(当日18:30〆切)。未提出の場合は欠席扱いとなるので注意すること								
学習目標	総合短期大学である本学の特徴を活かし、現代社会における地域課題と密接につながる「食と健康」、「子どもと保育」、「情報と経営」、「福祉と健康」の各分野、その他現代社会と地域を理解するのに役立つ幅広い事柄を自らの専攻とは異なる学生と共に学習することによって、地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うことを目的とする。								
キーワード	文理融合								
テキスト・ 参考書等	講師によっては、授業前に資料を配付する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための方法を身につけている。								
LO-2	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための技能を身につけている。								
LO-3	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い思考力・判断力・表現力を持ち、実践的な展開や課題解決することが出来る。								
LO-4	地域について自ら考えようとする意欲があり、実践的な展開や課題解決方法について主体的に学びを深めることが出来る。								
LO-5	地域社会の一員であることの自覚を持ち、他者を尊重し、協力・協働を図る人間性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	毎回の振り返りアンケート(40%程度)、最終回のレポート(60%程度)の内容を、LO1・LO2・LO3・LO4・LO5それぞれの観点で総合的に評価する。尚、追再試験は実施しない。 レポート課題について								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(スマートフォンもしくはノートパソコンを毎回持参すること) 食物栄養学科 准教授 川口 将史	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第2回	健康福祉学科 准教授 小平 達夫「特色ある国際労働力移動から見る人材育成」 資料	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第3回	経営情報学科 准教授 山下 裕介 「ビジネスの倫理学を考える」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第4回	富山短期大学 学長 高木 利久 「大学で学ぶということ、情報学を学ぶということ」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第5回	社会福祉法人宣長康久会 特別養護老人ホーム ささづ苑 施設長 岩井 広行 「DXの推進で現場革新」～生産性向上で生み出した資源を地域のために～	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第6回	幼児教育学科 講師 塩見 一成 「自分の幼少期を思い出しながら、子どもの健康について考えてみよう」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第7回	高岡市長 角田悠紀	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第8回	総まとめ レポート課題の作成 レポートの作成に必要なものを持参する。	
	【予習】今までの講義内容を「振り返り授業アンケート」で復習し、疑問点や意見をまとめておく。	90分
	【復習】今までの講義の中での疑問や不明点は調査し、まとめてレポートとして仕上げる。 期末のレポートは課題1にアップロードする。	90分

授業科目名	人間と情報			科目コード	X511-14				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文科学系			担当教員名	春名 亮				
実務経験									
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目	情報処理演習 (食栄・健福) 情報データ科学, データ科学実践(経情)				
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼教：コミュニケーションと情報 ・ 経情：ITリテラシー，デジタル技術概論，データ活用演習 								
資格等 取得との関連	本講義は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に関連し、令和6年に認定されれば「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」のリテラシーレベルの修得を証明する修了証を令和6年度後期に配布する。								
授業の概要	「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」におけるリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ってデータの利活用、そのために必要な人工知能(AI)に関する素養を理解させ、社会の課題解決のために多種多様なデータを分析する技術やそれを適用して得られた結果に基づく思考・判断力を向上させる。								
学習目標	「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」のリテラシーレベルの習得を目指し、社会のあらゆる分野で必要とされるデータ・人工知能(AI)の利活用に関する基本的な考え方を理解させる。								
キーワード	数理・データサイエンス・AI教育プログラム(MDASH)、データサイエンス、人工知能(AI)、ビッグデータ、デジタルトランスフォーメーション(DX)、生成AI								
テキスト・ 参考書等	【使用教科書】吉岡剛志(編著)「基礎学習 AIデータサイエンスリテラシー入門」(技術評論社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	データの種類やデータ・AIの利活用方法などに関する知識の理解度を評価するための基準								
LO-2	Excelを用いてデータを活用・分析する技能を評価するための基準								
LO-3	社会の動向に素早く対応し、多様なデータを分析する技術やそれを適用して得られた結果に基づく思考・判断力を評価するための基準								
LO-4	AI初級教育を学ぶことに対する積極性を評価するための基準								
LO-5	総合課題での取り組みにおいて、データをもとに解決策を考える過程に必要な社会性を評価するための基準								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		25	45	15		15			100
LO-1		25							25
LO-2			15	15					30
LO-3			20						20
LO-4						15			15
LO-5			10						10
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回～第6回，第9回～第13回においてExcelを使った「実習」形式によるアクティブラーニングを行う ・ LO1の小テスト：70点満点を2.8でわって25点満点で評価(Excelの関数を使って整数化する) ・ LO4における「その他A」の評価：ウェブシラバスアンケート回答(1点×15回) ・ 作品：Excelで作成した図表を作品として扱い，ウェブシラバスで数回提出させる。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス(プログラム認定制度の概要説明、数理・データサイエンス・AIを学ぶ意義など) 小テストのイメージ	
	【予習】 Excelは使いませんが、テキストp.38のStep1 - p.39のStep1 までを必ず読んでおくこと(フライングして実行してもOKです)。 ・テキストp.2「はじめに」、各章の概要が書かれているページ(p.7, p.37, p.165)を読んでおくこと。 ・シラバスをよく読んでおくこと。	90分
	【復習】 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)モデルカリキュラム-データ思考の涵養-を読むこと。 明日朝9時までに小テストを解答してください。	90分
第2回	社会で起きている変化 【キーワード】 5G, Society5.0, 第4次産業革命, モノのインターネット(IoT), ビッグデータ, デジタルトランスフォーメーション(DX), スマートシティー, SDGsなど 前回の内容に関する質問などへの回答	
	【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べながら、テキストp.8~p.13を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「社会で起きている変化」を読むこと。	90分
第3回	社会で活用されているデータ 【キーワード】 調査データ, ログデータ, 実験データ, 観測データ, 1次データ, 2次データ, メタデータ, オープンデータ 講義中に利用するデータ	
	【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べながら、テキストp.14~p.17を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「社会で活用されているデータ」を読むこと。 【リトライ問題】 リトライ問題 クリックして解答	90分
第4回	データ・AI活用のための技術(1): 構造化データの可視化(1) Excelによるグラフ作成の基礎(テキスト2-1-4, 2-1-5節) 講義中に利用するデータ	
	【予習】・テキストp.21~23(地図上の可視化), p.49~54を読んでおくこと。 ・「令和6年度学生のしおり」(p.11~12)を読んでGPA制度を理解しておくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・講義中に行った作業を再度自分でも確認すること。 ・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・e-Statなどで自分が関心を持ったデータを探して可視化してみる。	90分
第5回	データ・AI活用のための技術(1): 構造化データの可視化(2) [2024.5.6更新] 講義中に利用するデータ	
	【予習】テキストp.55~71を読んで、自分でもExcelを使って取り組むこと。	90分
	【復習】・講義中に行った作業を再度自分でも確認すること。 ・Google Formsの小テストを解答すること。 ・e-Statなどで自分が関心を持った時系列データを探して可視化してみる。	90分
第6回	時系列データの可視化(テキスト2-2節) 講義中に利用するデータ データ・AI活用のための技術(2): 非構造化データの扱い方, AIの仕組み(機械学習・深層学習) 【キーワード】 自然言語処理, ニューラルネットワーク, 機械学習, 深層学習, 特化型AI, 汎用AI	
	【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べながら、テキストp.23~p.26を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データ・AI活用のための技術」を読むこと。	90分
第7回	データ・AIの活用領域と各々の現場(テキスト1-3, 1-5節)	
	【予習】・テキストp.18~20, p.27~33を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】 Google Formsによる小テストを必ず解答し、数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データ・AIの活用領域」, 「データ・AI活用の現場」を読むこと。	90分
第8回	データ・AI活用の最新動向 【キーワード】 ビジネスモデル, シェアリングエコノミー, レコメンデーション, EC, 敵対的生成ネットワーク, ディープフェイク, 強化学習, 転移学習, 生成AI	
	【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べながら、テキストp.8~p.13を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データ・AI活用の最新動向」を読むこと。	90分
第9回	データを読む・説明する(1): データの種類, 平均値の求め方など, テキスト2-3節「平均の算出とその可視化」 もし時間があれば 【キーワード】 定量(量的)データ, 定性(質的)データ, 計量データ, 計数データ, 名義尺度, 順序尺度, 間隔尺度, 比率尺度, 母集団, 標本	
	【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べておくこと。 ・テキストp.72~83(コラム)を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データを読む」を読むこと。 Excelファイル(mean.xlsx)の提出については: 締切はXX日, 課題提出の1ヶ	90分
第10回	データを読む・説明する(2): 標準偏差の求め方, 箱ひげ図作成, 相関関係など 講義中に利用するデータ	
	【予習】・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データを説明する」を読むこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを解答すること。 ・講義中に行った作業を再度自分でも確認すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムで公開されている九大の教材「データのばらつき」を読むこと。	90分

第11回	<p>データを読む・説明する(3): データの予測, 標準偏差の可視化(テキスト2-4節) モデルカリキュラムの[選択]における「4-8. 教師あり学習」「4-9. 教師なし学習」も若干含む 講義中に利用するデータ</p>	
	<p>【予習】・テキストp.84～97を読んで、自分でもExcelを使って取り組むこと。 ・第4回の「R4.12～R5.2月の北陸地方における降雪量・最深積雪」のデータを使った散布図作成を復習しておくこと。</p>	90分
第12回	<p>【復習】・ Google Formsによる小テストを解答すること。 ・講義中に行った作業を再度自分でも確認すること。 ・e-Statなどで自分が関心を持ったデータを探して散布図を作成してみること。</p>	90分
	<p>データを説明する・データを扱う・データを読む 1) テキストデータをExcelに読み込む 2) 集計表の作成・可視化など</p>	
第13回	<p>【予習】講義スライドのpdf資料を読みながら、自分でもExcelを使って取り組むこと。</p>	90分
	<p>【復習】・ Google Formsによる小テストを解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データを扱う」を読むこと。</p>	90分
第14回	<p>第9回～第12回までのまとめ 講義中に利用するデータ 終了後に課題提出の1へ</p>	
	<p>【予習】第9回～第12回までの内容を復習しておくこと。</p>	90分
第15回	<p>【復習】・ Google Formsによる小テストを解答すること。 ・講義スライドのpdf資料を読みながら、講義中に行った作業を再度自分でも確認すること。</p>	90分
	<p>データ・AI活用における留意事項(テキスト第3章) 講義中に利用するデータ 【キーワード】ELSI, GDPR, 個人情報保護法, プライバシー, オプトイン/オプトアウト, バイアス, 人間中心のAI社会原則, セキュリティ, 暗号化</p>	
第14回	<p>【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べながら、テキストp.8～p.13を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。</p>	90分
	<p>【復習】・ Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データ・AI活用における留意事項」を読むこと。</p>	90分
第15回	<p>全体の総括</p>	
	<p>【予習】講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。特に「データリテラシー」の部分は、九大が数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムで公開している教材「データの種類」を読むこと。</p>	90分
	<p>【復習】・ Google Formsの確認テストを解答すること。 ・テキスト第1章および第3章の「用語解説」にあがっている用語を全て見直すこと。</p>	90分

授業科目名	キャンパス&ホームステイプログラム			科目コード	X551-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	山田 尚平					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし。		後継科目	なし。					
関連科目	英語、英語、英語、総合英語、総合英語								
資格等 取得との関連	なし。								
授業の概要	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2023年度は実施しない。</p> <p>富山国際大学が開講する短期の海外研修プログラムに参加することで、本学の当授業科目の履修と見なす。本学における事前オリエンテーションクラス、現地でのホームステイ・語学研修への参加を通して、異文化に対する理解を深めると共に語学力の向上をはかる。履修登録を行い、事前オリエンテーションクラスに出席することが参加条件である。オーストラリ</p>								
学習目標	英語の基本的な語彙や会話表現を習得する。また、英語圏の歴史・文化・生活習慣に対する理解を深める。								
キーワード	英語の語彙 会話表現 歴史 文化 生活習慣								
テキスト・ 参考書等	授業で適宜指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】英語圏の歴史・文化・生活習慣に関する基本的な知識がある。								
LO-2	【技能】英語の基本的な語彙や会話表現を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】自分の考えを英語で表現できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】英語圏の歴史・文化・生活習慣に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】英語でコミュニケーションをはかる意欲と能力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20		10	50	20		100
LO-1			5			10	10		25
LO-2			5			10	10		25
LO-3			10		5	10			25
LO-4						10			10
LO-5					5	10			15
備考	「その他A」は現地における研修への取組み、「その他B」は事前事後指導への取組みとする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、自己紹介	
	【予習】自己紹介で話す内容を考えておく。また、自分が言いたいことを英語でどう表現するか、必要に応じて英和・和英辞典等を使って調べる。	40分
	【復習】他の学生の自己紹介を聞いて学んだ表現をノートに書いて整理する。	20分
第2回	海外旅行で役立つ英語（1） 英語圏の国々の歴史と文化（1）	
	【予習】研修で訪れる国の歴史と文化について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第3回	海外旅行で役立つ英語（2） 英語圏の国々の歴史と文化（2）	
	【予習】研修で訪れる国の歴史と文化について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第4回	海外旅行で役立つ英語（3） 英語圏の国々の歴史と文化（3）	
	【予習】研修で訪れる国の歴史と文化について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第5回	ホームステイの英会話（1） 英語圏の国々の生活習慣（1）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第6回	ホームステイの英会話（2） 英語圏の国々の生活習慣（2）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第7回	ホームステイの英会話（3） 英語圏の国々の生活習慣（3）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第8回	ホームステイの英会話（4） 英語圏の国々の生活習慣（4）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第9回	海外渡航時の危機管理（1）：健康管理	
	【予習】最近受けた健康診断の結果を再確認する。	20分
	【復習】授業で学んだことをノートに書いて整理する。	40分
第10回	海外渡航時の危機管理（2）：学生の基本リスク対策	
	【予習】日本人の海外旅行者、留学生が遭遇したトラブルについて調べておく。	20分
	【復習】授業で学んだことをノートに書いて整理する。また、自分ならどうするか考えてみる。	40分

第11回	海外渡航時の危機管理（3）：深刻なトラブルに会った時の対応	
	【予習】日本人の海外旅行者、留学生が遭遇したトラブルについて調べておく。	20分
	【復習】授業で学んだことをノートに書いて整理する。また、自分ならどうするか考えてみる。	40分
第12回	現地での交流会の出し物の練習（1）	
	【予習】なし。	0分
	【復習】必要に応じて出し物の準備をする。	30分
第13回	現地での交流会の出し物の練習（2）	
	【予習】なし。	0分
	【復習】必要に応じて出し物の準備をする。	30分
第14回	現地での交流会の出し物の練習（3）	
	【予習】なし。	0分
	【復習】必要に応じて出し物の準備をする。	30分
第15回	事後報告会、期末レポート作成	
	【予習】報告会の準備をする。また、期末レポートを作成する。	160分
	【復習】報告会のフィードバックを行う。また、必要に応じて期末レポートを修正する。	40分